

「健康都市やまと」と健康都市プログラム

Ⅰ 「健康都市やまと」のあゆみ

大和市は平成21年2月、市制施行50周年式典において、「健康都市 やまと」を宣言して健康都市を目指す決意を表明し、さらに同年、「人」「まち」「社会」の3つの健康づくりを推進するため、「健康創造都市 やまと」を将来都市像とする第8次 大和市総合計画を策定しました。平成31年4月には、市民や地域の力を結集しながら、これまでの取り組みをさらに深めていくため、引き続き「健康」を市政の中心に据えた「健康都市やまと総合計画」がスタートしました。市政のあらゆる面で市民の健康と生活の質の維持・向上を目指す「健康都市」の取り組みを進めていきます。

H20. 7.25	健康都市連合日本支部加盟
H20. 9. 1	健康都市連合加盟
H20.10. 1	「大和市健康都市シンボルマーク」を制定
H21. 2. 1	「健康都市 やまと」宣言
H21. 4. 1	「健康創造都市 やまと」を将来都市像とする第8次大和市総合計画を策定
H21. 7. 1	「大和市健康都市プログラム」を策定
H22.11.13	「健康都市やまとフェア」(第1回)を開催
H24. 8. 7~ 8	第8回健康都市連合日本支部総会・大会を大和市で開催
H24.10.26	第5回健康都市連合国際大会(オーストラリア・ブリスベン)において健康都市連合理事に就任
H25.10.26	健康日本21推進大和大会を開催
H26. 4. 1	「60歳代を高齢者と言わない都市 やまと」宣言
H26.10.29	第6回健康都市連合国際大会(中国・香港)において健康都市連合表彰を受賞 「健康都市優秀インフラストラクチャー賞」
H27.11.16	「第4回健康寿命をのばそう!アワード」(厚生労働省主催)において 厚生労働省健康局長優良賞を受賞
H28. 8.29	第7回健康都市連合国際大会(韓国・原州)において健康都市連合表彰を受賞 「健康都市グッドダイナミクス賞」 「健康都市クリエイティブディベロップメント賞」
H28.11.21	WHO(世界保健機関)の第9回ヘルス・プロモーション国際会議(中国・上海)に招待され、健康都市国際市長フォーラムにおいて「健康都市やまと」の取り組みを発表
H29.10.17	WHO エイジフレンドリーシティグローバルネットワークに、神奈川県内の18市町とともに参加
H30. 4.11	「70歳代を高齢者と言わない都市 やまと」宣言
H31. 4. 1	「健康都市 やまと」を将来都市像とする健康都市やまと総合計画がスタート
R 1. 7. 9	エイジフレンドリーシティ行動計画を策定

2 「人」の健康、「まち」の健康、「社会」の健康

健康都市やまと総合計画では、「人」、「まち」、「社会」の3つの健康の連携を深め、成熟させていくことで、全ての世代が健やかで康らかな生活を実感できる「健康都市 やまと」の実現を目指しています。

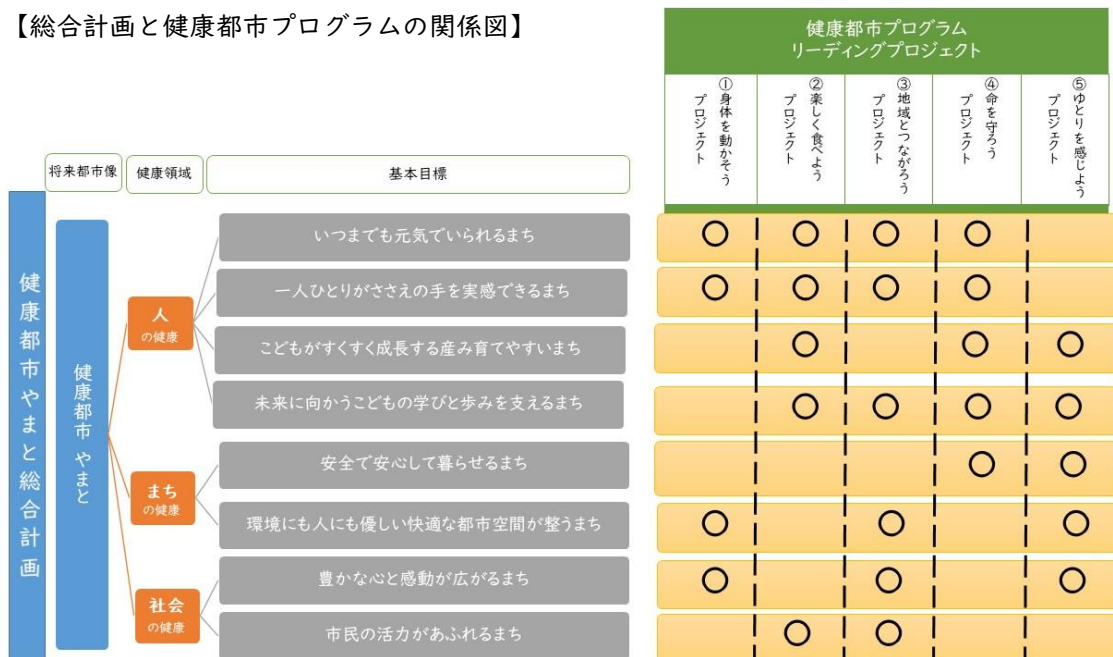


<p>心身ともに健康な人も何らかの支援を必要とする人も、誰もが年齢に関わりなく、自分らしくいきいきと、充実した毎日を送ることができるようにしていく領域</p>	<p>市民が心地よく健康的に暮らし、また、存分に力を発揮できるよう、安全と安心が確保された、快適な環境や都市空間を備えたまちをつくる領域</p>	<p>豊かな心や感動、活力に満たされた毎日を送ることにより、市民が身体だけでなく心も充実して健康的に暮らすことができるようにしていく領域</p>
---	--	--

3 健康都市プログラム

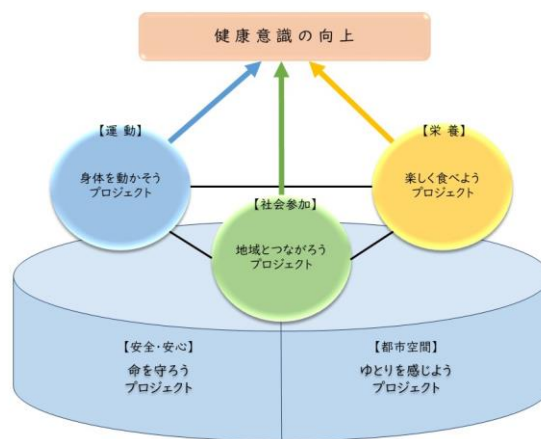
大和市では、3つの健康にかかわる施策を効果的に実行することを目指して、「健康都市プログラム」を策定しており、健康都市やまと総合計画の中から、市民一人ひとりの健康を維持増進していくという観点で特に重要な施策を抽出して、5つのリーディングプロジェクトに編成しています。

【総合計画と健康都市プログラムの関係図】



4 5つのリーディングプロジェクト

人が自らの健康を維持増進する上で重要な「運動」、「栄養」、「社会参加」の3要素に着目した3つのプロジェクトと、それを支えるための社会基盤となる「安全・安心」、「都市空間」の2要素に対応した2つのプロジェクト、合わせて5つのリーディングプロジェクトからなりたっています。



【リーディングプロジェクトの体系図】

5 健康都市プログラムの改訂

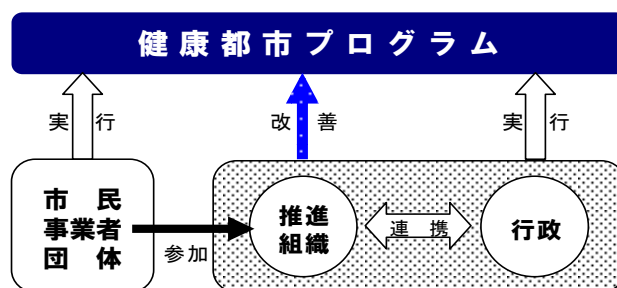
健康都市プログラムは、健康都市やまと総合計画（10 年・2019～2028 年度）との整合を図り、進行管理を行います。

健康都市やまと総合計画実施計画の改訂に合わせて、健康都市プログラムの登載事業を見直すとともに、実施状況を確認し、健康都市プログラムを毎年改訂していきます。

6 健康都市プログラムと市民の取り組み

健康づくりは、市民一人ひとりが健康について関心を持ち、健康の上で好ましい生活習慣を身につけ、それを実践・継続していくことが不可欠です。大和市では様々な取り組みを通じて、市民一人ひとりの健康づくりを支援する環境づくりを推進していきます。また、市民の健康を継続的に維持・増進していくためには、地域において健康づくりに取り組む方々と連携することが重要です。

大和市では、「健康都市推進市民会議」を組織し、健康づくりに取り組む団体等の参画を得て、実践活動に基づく意見、提案を集約し、健康都市プログラムに反映していきます。



【市民参加のイメージ】

各種データから見た大和市民の健康



大和市民の健康について

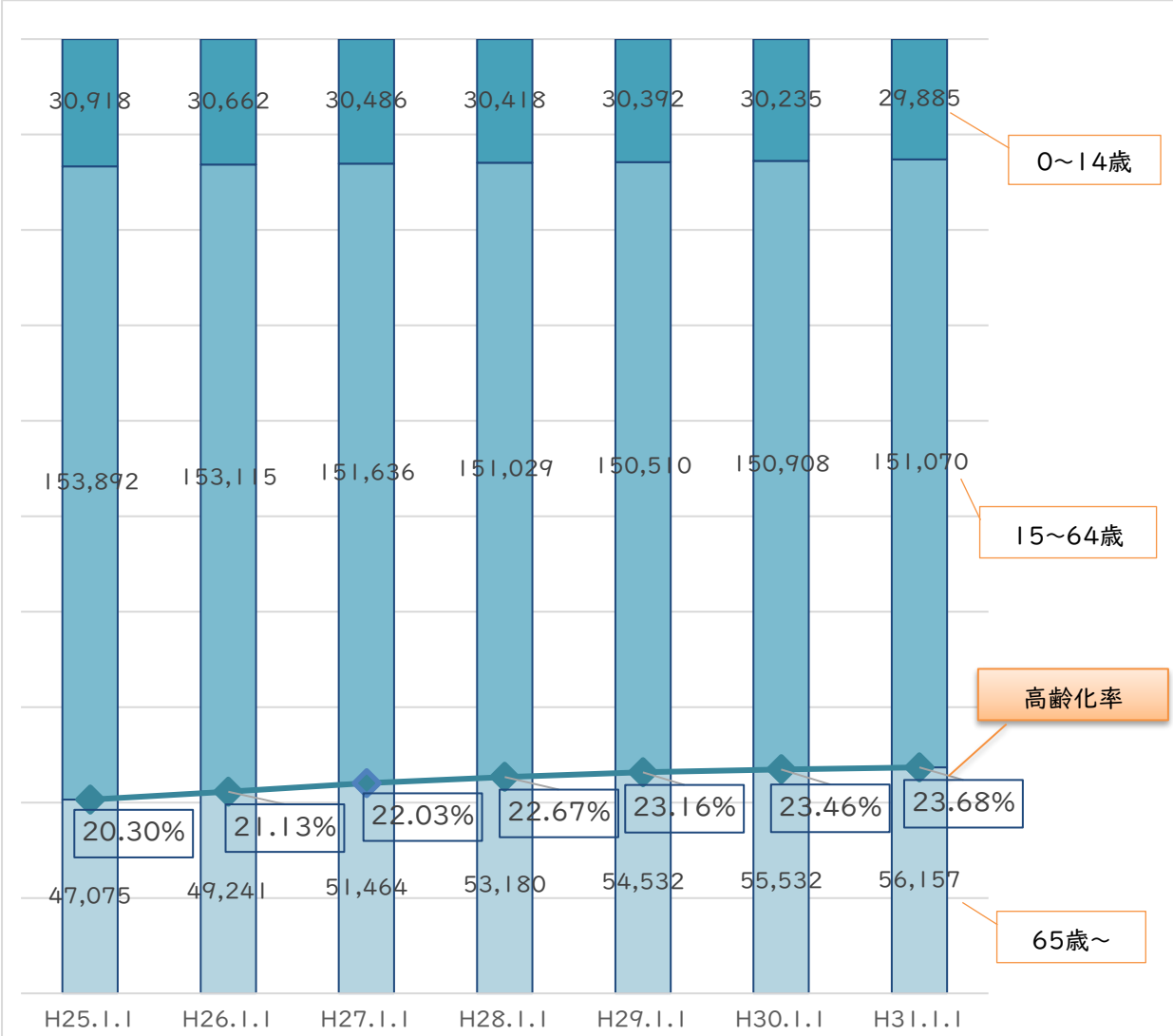
市民の健康に関する現状を各種データをもとに説明します。

- 1.人口構造と高齢化率
- 2.平均寿命と健康寿命
- 3.死因別死亡率
- 4.医療費
- 5.要介護・要支援認定率と介護費用額

1.人口構造と高齢化率

- 大和市の高齢化率(65歳以上人口割合)は **23.7%**(H31.1.1時点)¹
- 高齢化率は年々上昇しており、総合計画の最終年である2028年には **26%**まで上昇する見込みとなっています。²

各種データから見た
大和市民の健康



¹ 住民基本台帳による。
² データ出典：「健康都市やまと 総合計画」P6。

2. 平均寿命と健康寿命

○健康寿命の概念は2000年にWHOが提唱し、厚生労働省は「健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間」と定義しています。

健康寿命の算定方法

・健康寿命は65歳時の平均自立期間を用いて表します(平均自立期間+65年)。平均自立期間は介護保険制度の要介護2の認定を受けるまでの期間の平均値です。

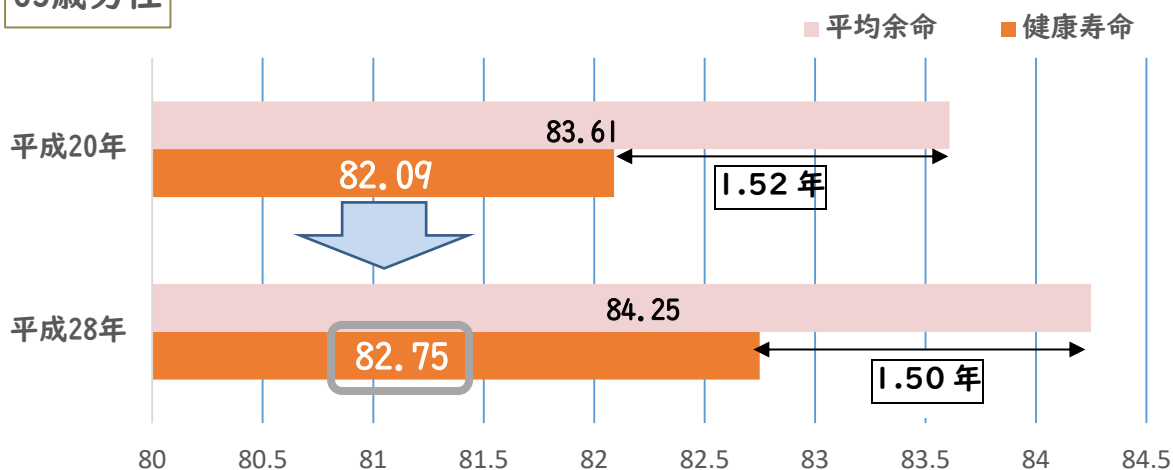
※国が公表している日本全体の健康寿命は、アンケート調査で求めた値で、男性72.14年、女性74.79年(平成28年)となっており、自治体を用いる65歳時の平均自立期間より10年程度短くなっています。

大和市の健康寿命³

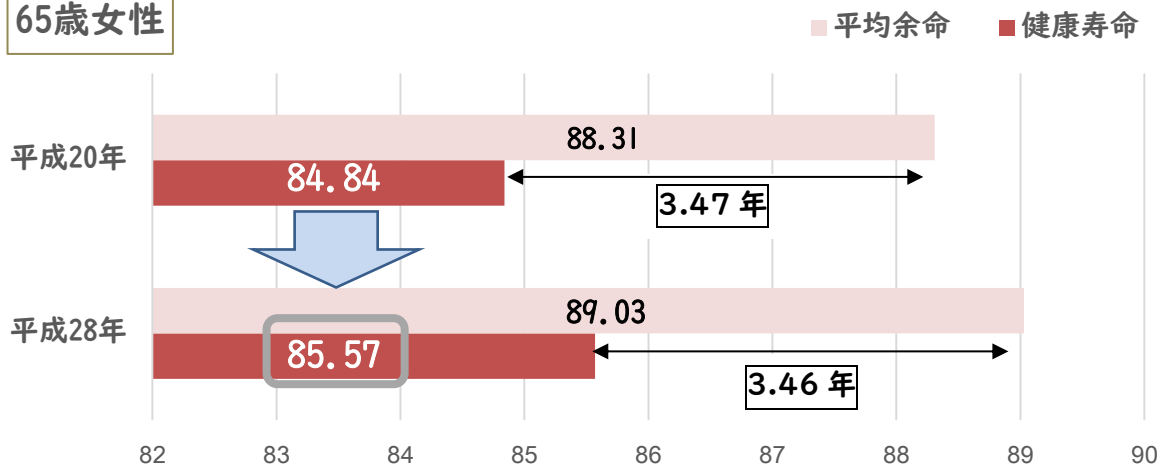
平成28年の健康寿命: 男性 82.75歳 女性 85.57歳

各種データから見た
大和市民の健康

65歳男性



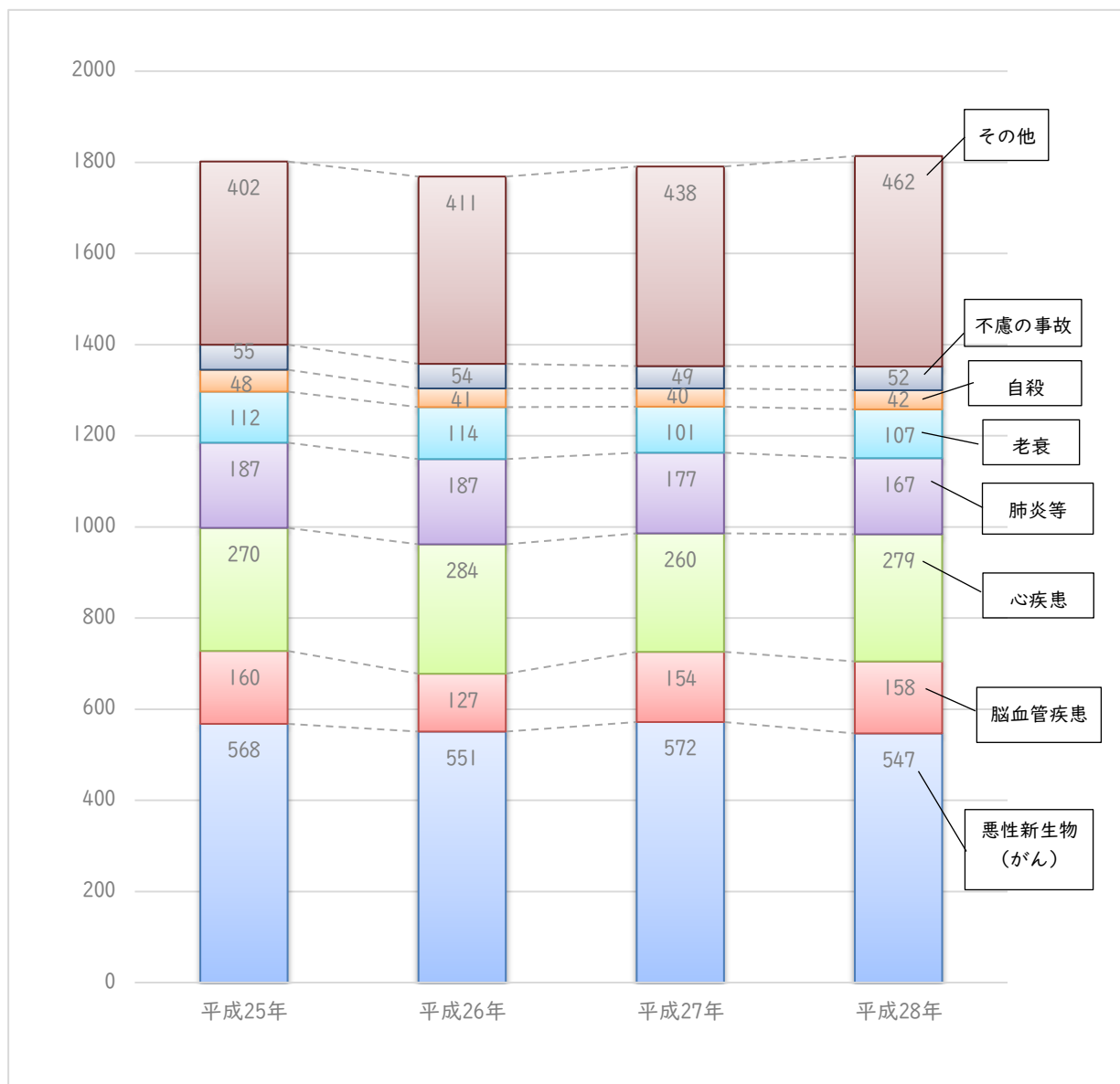
65歳女性



³ 神奈川県健康増進課による算定結果で、小数点第3位以下を四捨五入しています。なお、平均余命については国勢調査に基づく生命表によるものであるため平成27年のデータとなっています。

3. 死因別死亡率

○死亡率を死因別にみると、悪性新生物(がん)が最も多くなっており、続いて心疾患、肺炎等の順で多くなっています。また、自殺数については横ばいの状況となっています。⁴



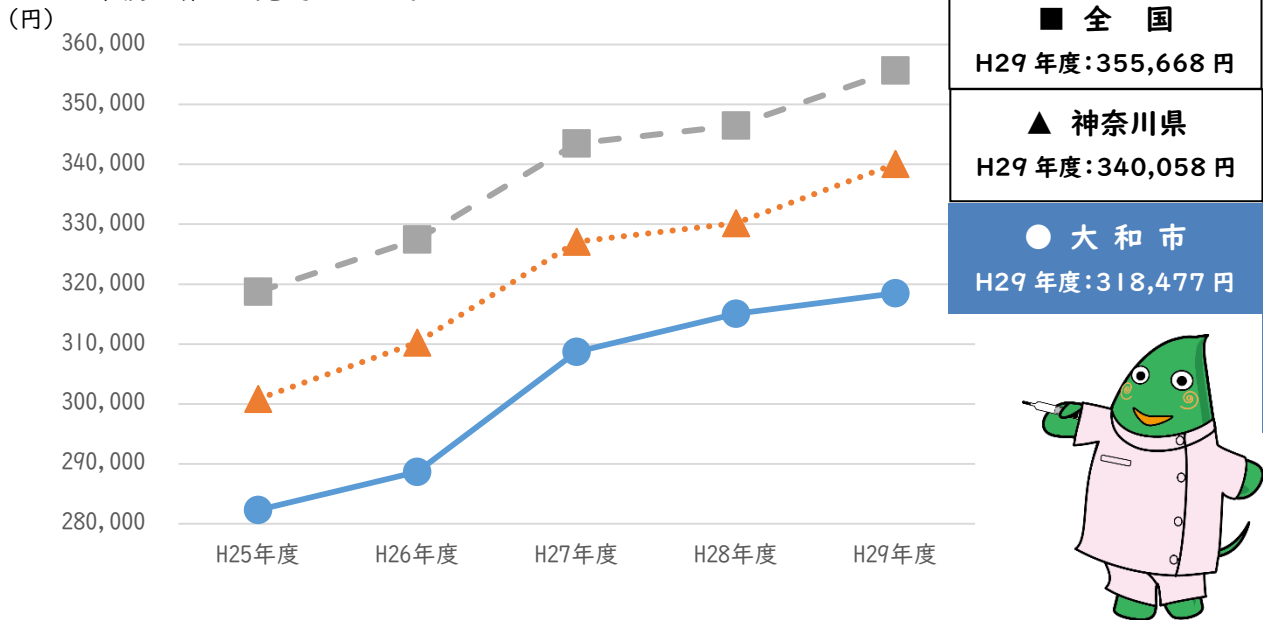
各種データから見た
大和市民の健康

⁴ データ出典：統計概要「14.保健・衛生」(70) 主要死因別死亡数。

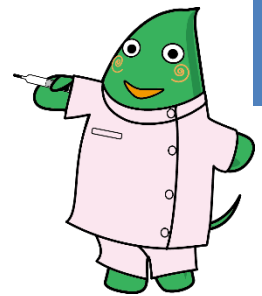
4. 医療費

国民健康保険一人あたりの医療費

・大和市の国民健康保険の一人あたり医療費⁵は、全国や神奈川県と比較して低いものの、今後も増加が見込まれます。

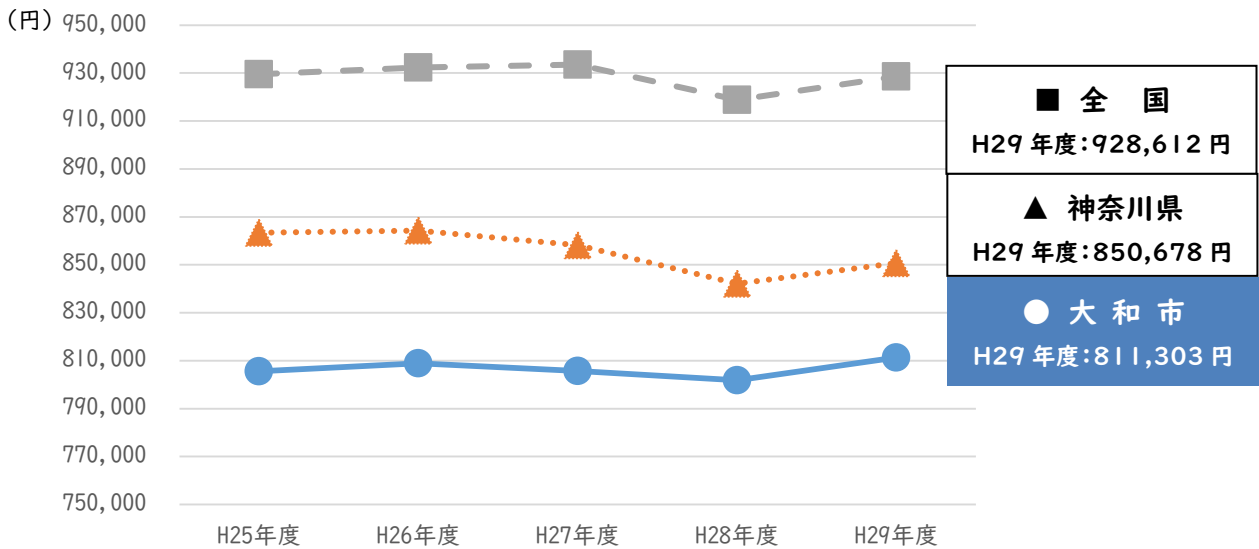


各種データから見た
大和市民の健康



後期高齢者医療制度の一人あたりの医療費

・後期高齢者医療制度⁶では、1人当たり医療費は増加せず、横ばいとなっています。



⁵ データ出典：厚生労働省「医療費の地域差分析」

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/iryuuhoken/database/iryomap/

「基礎データ」第1表「一人あたり実績医療費及び対全国比」および第22表「市町村国民健康保険 市町村別データ」。

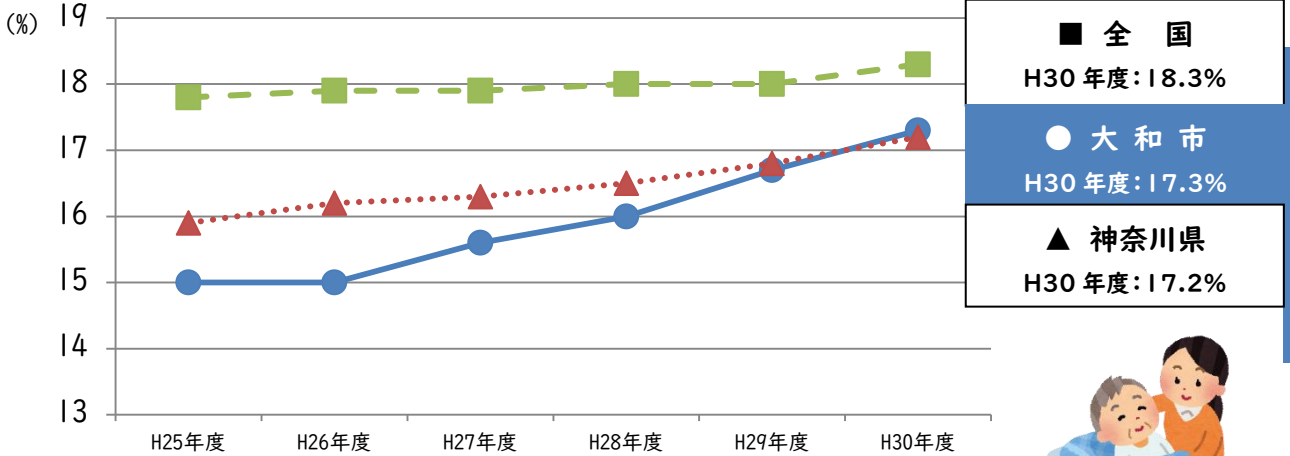
⁶ データ出典：国・県については同上の「基礎データ」第1表「一人あたり実績医療費及び対全国比」。市については神奈川県後期高齢者医療広域連合「神奈川県後期高齢者医療事業報告書」表8-3-1「後期高齢者医療費の状況（現物給付+現金給付）」。

5. 要介護・要支援認定率と介護費用額

要介護・要支援認定率

○要介護・要支援認定率とは、65歳以上の介護保険被保険者（第1号被保険者）の総数の中で、要介護及び要支援の認定を受けている人の割合を示します。

○各年度の3月末時点の推移です。⁷



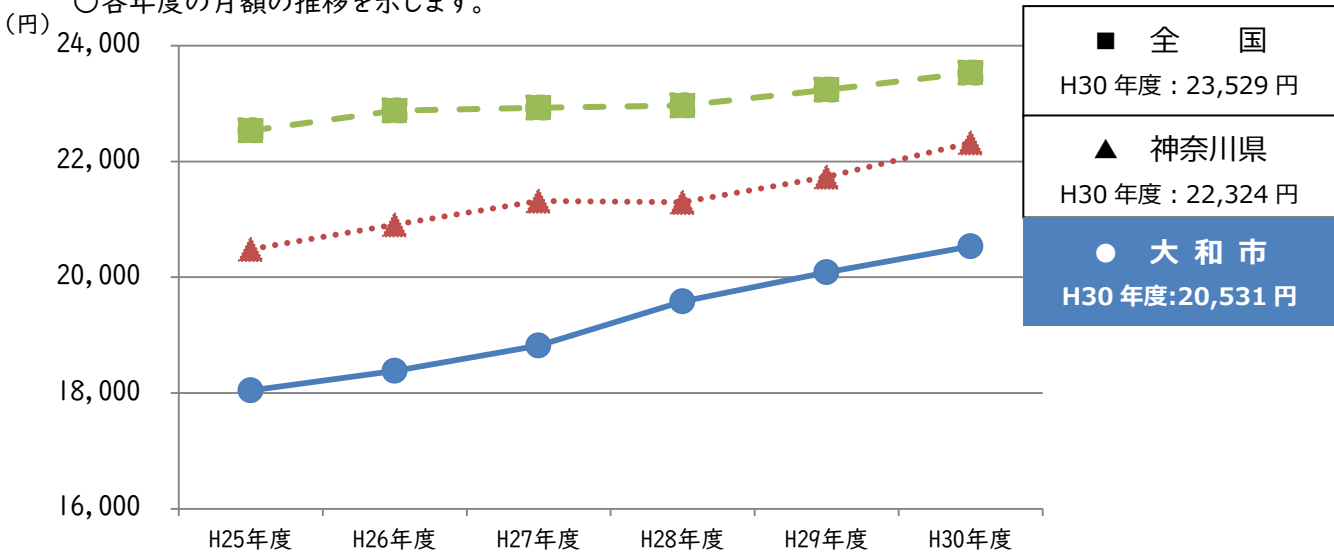
各種データから見た
大和市民の健康



介護費用額

○介護費用額とは、65歳以上の介護保険被保険者（第1号被保険者）のサービス（在宅・居住系・施設）にかかる1人1月あたりの費用の合計額です。

○各年度の月額推移を示します。⁸



⁷ データ出典：厚生労働省「地域包括ケア『見える化』システム」<http://mieruka.mhlw.go.jp/>の「要介護(要支援)認定者数、要介護(要支援)認定率の推移」。なお、厚生労働省は平成31年3月末の数値について、「暫定値であり今後変更がある」としています。

⁸ データ出典：同上の「介護費用額の推移」。なお、平成30年度分は平成31年2月分までの11か月間の平均となっています。

リーディングプロジェクト



リーディングプロジェクト1

身体を動かそうプロジェクト



リーディングプロジェクト2

楽しく食べようプロジェクト



リーディングプロジェクト3

地域とつながろうプロジェクト



リーディングプロジェクト4

命を守ろうプロジェクト



リーディングプロジェクト5

ゆとりを感じようプロジェクト



身体を動かそうプロジェクト

身体を動かすことは、骨・筋力の維持、脂肪の燃焼、脳の活性化や生活習慣病の防止に欠くことのできない健康の基本です。幅広い年齢層で、様々な健康状態の人々が、広く取り組むことができる運動の普及啓発と、取り組みをしやすい環境の整備に努めます。

【健康都市プログラム掲載事業】

身体を動かそうプロジェクト一覧 「健康都市やまと総合計画 実施計画」における 主要な事務事業より抽出	主な取り組み	健康都市やまと総合計画								所管課	ページ
		基本目標									
		1	2	3	4	5	6	7	8		
		人				まち		社会			
健康づくり普及啓発事業	ウォーキング、体操教室の開催	○								健康づくり推進課	15
歩く健康づくり事業	ウォーキンピックの開催	○								健康づくり推進課	15
一般介護予防事業	コグニバイクの普及啓発	○								高齢福祉課	16
介護予防・生活支援サービス事業	運動機能向上講習の実施		○							高齢福祉課	16
既設公園等大規模改修事業	遊具や設備等の新設							○		みどり公園課	17
ゆとりの森整備事業	スポーツ施設やレクリエーション施設の整備							○		みどり公園課	17
街区公園等整備事業	地域の街区公園等の整備							○		みどり公園課	17
スポーツ大会開催事業	各種スポーツ大会の開催								○	スポーツ課	18
スポーツ教室開催事業	スポーツ教室の開催								○	スポーツ課	18
地域スポーツ推進事業	スポーツ関連のイベントや教室の実施								○	スポーツ課	19
大和スタジアム・つきみ野野球場・宮久保野球場施設管理運営事業	快適なスポーツ施設環境の提供								○	スポーツ課	19
ゆとりの森スポーツ施設管理運営事業	快適なスポーツ施設環境の提供								○	スポーツ課	19
女子サッカー推進事業	女子サッカーに関するイベントの開催								○	スポーツ課	20

【プロジェクトに関連する個別計画】

- ・大和市スポーツ推進計画

【関連計画における参考となる指標】

- ・健康都市やまと総合計画の成果を計る主な指標

	実績値	中間目標値 (2021年)	目標値 (2023年)
自ら健康づくりに 取り組んでいる市民の割合	62.9% (2016年)	68.0%	70.0%

- ・大和市スポーツ推進計画の成果指標

	実績値	中間目標値 (2021年度)	目標値 (2023年度)
週1回以上スポーツを している市民の割合	59.7% (2017年度)	63.3%	65.1%

【各事業の取り組み内容】

健康づくり普及啓発事業【担当課：健康づくり推進課】			
1-1-1-1 市民の間での健康づくり活動を活発にする			
◇2019年度の取り組み◇		2019年度の事業費：2,100千円	
【健康づくり普及啓発事業の実施】			
地域の健康づくりのリーダーとして活動する健康普及員を支援し健康づくりを推進します。			
地区の特徴を活かした健康普及員活動（ウォーキングや体操教室、健康測定会、食生活教室、健康普及員OB会による月例ウォーキング等）や市民まつり、健康都市やまとフェア等の参加など、市内全域で健康づくり活動を展開しています。			
*健康づくり普及啓発事業は、「楽しく食べようプロジェクト」「地域とつながろうプロジェクト」にも登載されています。			
	2020年度	2021年度	2022年度
実施計画に定める事業費の推計（千円）	2,100	2,100	2,100

歩く健康づくり事業【担当課：健康づくり推進課】			
1-1-1-1 市民の間での健康づくり活動を活発にする			
◇2019年度の取り組み◇		2019年度の事業費：7,200千円	
【やまとウォーキンピックの開催】			
5月と10月の年2回開催し、「歩くこと」の推進及び定着を図ります。			
【ウォーキングサインの設置】			
不特定多数の方に見ていただき、歩くことを意識していただくため、駅や公共施設までの距離、時間、歩数、消費カロリーを記したウォーキングサインを市道に設置します。			
【歩行姿勢測定システムの導入】			
「スポーツフェスタ」や「健康都市やまとフェア」といったイベントで測定会を実施します。文化創造拠点シリウスの健康テラスで行われる健康講座を活用し、定期的に測定会を実施します。			
	2020年度	2021年度	2022年度
実施計画に定める事業費の推計（千円）	6,900	7,300	6,800

一般介護予防事業【担当課：高齢福祉課】

1-1-1-2 高齢の方の生き生きとした毎日を応援する

◇2019年度の取り組み◇ 2019年度の事業費：34,300千円

【介護予防普及啓発】

介護予防に関する普及啓発のため、健康遊具体験会や介護予防セミナー（運動セミナー、口腔セミナー、栄養セミナー）を開催します。

【ふれあいネットワーク事業の実施】

大和市社会福祉協議会への委託により、地区社会福祉協議会の活動（ふれあい訪問、ミニサロン開催、個別支援）を支援します。

【介護予防サポーター養成】

市内9カ所の地域包括支援センターへの委託により、介護予防や認知症に関する情報を地域に普及するための活動を行うサポーターを養成するための講座を開催します。

【コグニバイクの普及啓発】

認知機能の向上を目的とした、脳と体の両方を同時に活動させる自転車型運動機器「コグニバイク」2台を、シリウス4階の健康度見える化コーナーに設置しています。週3回支援員がつき、利用方法についての支援を行います。

*一般介護予防事業は、「地域とつながろうプロジェクト」にも掲載されています。

	2020年度	2021年度	2022年度
実施計画に定める事業費の推計（千円）	62,200	35,500	63,400

介護予防・生活支援サービス事業【担当課：高齢福祉課】

2-1-1-1 高齢の方にとって安心できる生活環境を整える

◇2019年度の取り組み◇ 2019年度の事業費：54,800千円

【訪問型サービス事業】

65歳以上の基本チェックリストの判定基準に該当しサービス利用が必要と判断された方を対象に、専門職（理学療法士、歯科衛生士等）が訪問指導する短期集中予防サービスを実施します。

【通所型サービス事業】

65歳以上の要支援1・2の認定を受けている方、基本チェックリストの判定基準に該当しサービス利用が必要と判断された方を対象に、次の短期集中予防サービス（全14回の講座）を実施します。

- ・運動機能向上講座
- ・心身機能向上講座
- ・運動・口腔機能向上講座

*介護予防・生活支援サービス事業は、「楽しく食べようプロジェクト」にも掲載されています。

	2020年度	2021年度	2022年度
実施計画に定める事業費の推計（千円）	56,900	58,900	61,200

既設公園等大規模改修事業【担当課：みどり公園課】

6-2-3-2 市民に親しまれる公園づくりを推進する

◇2019年度の取り組み◇ 2019年度の事業費：211,000千円

【既設公園の施設改修工事】

破損及び老朽化した遊具の改修や、危険なため既に撤去した遊具の再設置やボールあそびもできる防球ネット設置などを実施しています。

【公園施設長寿命化改修工事】

「大和市公園施設長寿命化計画」に基づき、老朽化した遊具などの改修工事を計画的に実施しています。

【やまと公園大規模改修実施設計】

やまと公園の大規模改修整備工事に向け、設計委託を行います。

	2020年度	2021年度	2022年度
実施計画に定める 事業費の推計（千円）	246,000	262,000	464,000

ゆとりの森整備事業【担当課：みどり公園課】

6-2-3-2 市民に親しまれる公園づくりを推進する

◇2019年度の取り組み◇ 2019年度の事業費：38,400千円

【避雷針付四阿整備】

夏季における熱中症対策や、ゲリラ豪雨などによる落雷時の避難スペースを確保するため、避雷針付の四阿を整備します。

*ゆとりの森整備事業は、「ゆとりを感じようプロジェクト」にも登載されています。

	2020年度	2021年度	2022年度
実施計画に定める 事業費の推計（千円）	28,800	18,600	12,600

街区公園等整備事業【担当課：みどり公園課】

6-2-3-2 市民に親しまれる公園づくりを推進する

◇2019年度の取り組み◇ 2019年度の事業費：31,100千円

【（仮称）ふれあいの森草柳第2広場整備】

スケートボードや自転車の練習、バスケットボール（3×3）などができるエリアを整備します。

*街区公園等整備事業は、「ゆとりを感じようプロジェクト」にも登載されています。

	2020年度	2021年度	2022年度
実施計画に定める 事業費の推計（千円）	138,000	4,600	0

スポーツ大会開催事業【担当課：スポーツ課】 7-3-1-1 市民がスポーツを楽しむ機会を提供する			
◇2019年度の取り組み◇		2019年度の事業費：4,400千円	
【市民総合スポーツ選手権大会の開催】 アマチュアスポーツ精神の高揚と健康の増進のため、市民の間に広くスポーツ参加の機会をつくることでスポーツの普及振興を図ります。 あらゆる部門にわたり競技会を開催することにより、選手層の強化開発とスポーツの発展を図ります（2019年度は23種目実施）。			
【駅伝競走大会の開催】 新春の体育行事として、大和スポーツセンターを中心とする周回コースで開催します。 2019年度開催の第62回大会は、地区対抗、一般A、一般B、中学生の4部門で、113チームの参加がありました。			
【スポーツフェスタの開催】 体力測定や様々なスポーツの紹介・体験を通じて、スポーツの普及、健康意識の高揚を図ります。			
	2020年度	2021年度	2022年度
実施計画に定める事業費の推計（千円）	4,400	4,400	4,400

スポーツ教室開催事業【担当課：スポーツ課】 7-3-1-1 市民がスポーツを楽しむ機会を提供する			
◇2019年度の取り組み◇		2019年度の事業費：5,300千円	
【スポーツ教室の開催】 日頃スポーツの機会の少ない人もスポーツの楽しさを体験することにより、スポーツを習慣化することを目的し、子どもや障がい者等、全ての人が気軽にスポーツをしたくなるような種目の教室を開催します。（2019年度は18回実施）			
	2020年度	2021年度	2022年度
実施計画に定める事業費の推計（千円）	5,300	5,300	5,300

地域スポーツ推進事業【担当課：スポーツ課】

7-3-1-1 市民がスポーツを楽しむ機会を提供する

◇2019年度の取り組み◇ 2019年度の事業費：12,300千円

【「夢の教室」開催】
 市立小学校 5 年生及び市立中学校 2 年生全クラスを対象に「夢を持つことの大切さ」「仲間と協力することの大切さ」を伝えていくことを目的とした「夢の教室」を開催します。
 （2019年度は小学校 64 クラス、中学校 48 クラスで実施）

【総合型地域スポーツクラブの創設、活動支援】
 総合型地域スポーツクラブが自律的で主体的な運営を行えるよう、団体の会員拡大や活動基盤安定に向けた支援を行います。

【「トップスポーツ観戦デー」の実施】
 トップレベルの大会等を市内の競技施設に誘致して開催し、スポーツに親しむ機会を提供します。
 （2019年度はラグビー関東大学対抗秋季公式戦を開催）

【スポーツボランティアの育成】
 スポーツボランティアに関わる情報・機会を提供するとともに、スポーツを支えるボランティア活動への参加拡大及び推進を図ります。（2019年度は大和スポーツボランティアサミットを開催）

*地域スポーツ推進事業は、「地域とつながろうプロジェクト」にも掲載されています。

	2020 年度	2021 年度	2022 年度
実施計画に定める 事業費の推計（千円）	10,200	10,200	10,200

大和スタジアム・つきみ野野球場・宮久保野球場施設管理運営事業【担当課：スポーツ課】

7-3-1-2 市民がスポーツを楽しむ環境を整える

◇2019年度の取り組み◇ 2019年度の事業費：56,300千円

【指定管理委託】
 快適なスポーツ施設環境を提供するため、大和スタジアムをはじめとした野球場の維持管理及び運営を、指定管理委託により行います。

	2020 年度	2021 年度	2022 年度
実施計画に定める 事業費の推計（千円）	56,800	56,800	56,800

ゆとりの森スポーツ施設管理運営事業【担当課：スポーツ課】

7-3-1-2 市民がスポーツを楽しむ環境を整える

◇2019年度の取り組み◇ 2019年度の事業費：38,000千円

【指定管理委託】
 快適なスポーツ施設環境を提供するため、ゆとりの森スポーツ施設（芝生グラウンド、テニスコート、大規模多目的スポーツ広場、中規模多目的スポーツ広場、スポーツハウス）の維持管理及び運営を、指定管理委託により行います。

	2020 年度	2021 年度	2022 年度
実施計画に定める 事業費の推計（千円）	38,300	38,300	38,300

女子サッカー推進事業【担当課：スポーツ課】

7-3-1-3 スポーツ選手や団体等の活動を支援する

◇2019年度の取り組み◇ 2019年度の事業費：6,500千円

【女子小中学生を対象としたサッカー大会「大和なでしこカップ」の開催】

未来の「なでしこジャパン」を目指す女子サッカー選手たちに活躍の場を提供するとともに、女子サッカーの競技力の向上を図ることを目的として大会を開催します。

(2019年度は中学生以下大会1回、小学生以下の大会1回を開催)

【女子中学生のサッカー体験会や技術指導等の実施】

初めてサッカーを体験する子を中心に、誰でも楽しめるプログラムを提供する「女子小中学生サッカー体験会」を開催します。(2019年度は12回開催)

【女子サッカー関連イベントの開催】

女子サッカーへの関心を高めていくことを目的に、現役のなでしこジャパンやOGが特別講師となりサッカー教室やミニゲームを行う「なでしこレジェンドが大和にやってくる」「大和なでしこサッカーフェスティバル」を開催し、気軽にサッカーを楽しめる場を提供します。

	2020年度	2021年度	2022年度
実施計画に定める 事業費の推計(千円)	6,200	6,200	6,200



事例紹介 健康への道も一歩から

「歩く」ことは、継続して取り組むことで、生活習慣病の予防・血圧や血糖値の改善・心肺機能の改善・骨粗しょう症の予防など、様々な効果が期待できます。また、国が平成28年に実施した「社会生活基本調査」では、スポーツとして「ウォーキング」に取り組まれている方が一番多く、幅広い年齢層で実施されている結果が出ており、このようなことから気軽に実践できる特徴があると言えます。

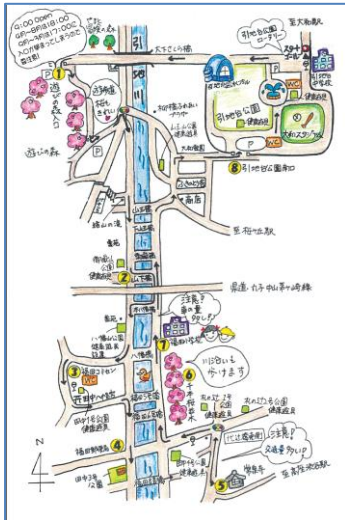
大和市では「歩く」ことの可能性に着目し、歩く健康づくりに関する施策を総合的に推進するため、平成30年10月に「大和市歩く健康づくり推進条例」を施行し、歩く健康づくりの取り組みが定着するように様々な事業を行っています。

■やまとウォーキンピック

4~7名でチームをつくり、市が貸し出す歩数計を使用し、チームの目標歩数を決めて1カ月間歩くことに取り組むイベントで、5月と10月の年2回実施しています。令和元年10月に実施したやまとウォーキンピックには281チーム、1,519人と大変多くの参加がありました。ご友人や職場の同僚と参加できますので、歩く健康づくりに取り組むきっかけとして参加されてはいかがでしょうか。



やまとウォーキンピック表彰式



ウォーキングマップ

■大和市ウォーキングマップ

大和市健康普及員連絡協議会が作成しており、より楽しく歩いていただけるように、市内の歴史や自然の名所などにふれあえる12のコースが紹介され、大和市の魅力を再確認できる内容になっています。健康普及員のOB会が、月1回程度ウォーキングマップのコースを活用したウォーキングイベントを開催しておりますので是非ご参加ください。

■ウォーキングサイン

多くの方に歩くことを意識いただくために、駅や公共施設までの距離、歩数、時間及び消費カロリーを記したウォーキングサインの設置を進めています。通勤、通学、散歩の機会にご活用ください。



ウォーキングサイン



市民の取り組み 「大和市地区体育振興会連絡協議会」の活動

地区体育振興会連絡協議会は、各地区体育振興会が互いに連絡協調を図り、スポーツ活動を振興することで、地域住民の体力向上と健全な精神を育むことに寄与することを目指して活動しています。

各地区の体育振興会は、市の事業への協力や地区ごとのスポーツ活動の企画・運営を担っています。特に例年10月ごろに開催している地区体育祭・運動会は、各地区のメインとなるスポーツイベントであり、お年寄りから小さい子どもたちまで、たくさんの方が元気いっぱいに参加し、気持ちよく汗をかいています。

■主な活動

- 体育祭・運動会など、地区内スポーツ・レクリエーション事業の開催
- 大和市駅伝競走大会やスポーツフェスタなどへの選手派遣・運営協力
- スポーツ推進委員・社会体育振興委員の推薦



大和市駅伝



スポーツフェスタ



桜丘運動会



食べることは、生きるためのエネルギーや、身体をつくる栄養素を摂取する健康の基本です。それぞれのライフステージごとに、望ましい食生活を送ることがとても大切です。多くの人に、食に対する関心と、正しい知識を持っていただくために、様々な普及啓発活動を行います。

【健康都市プログラム掲載事業】

楽しく食べようプロジェクト一覧 「健康都市やまと総合計画 実施計画」における 主要な事務事業より抽出	主な取り組み	健康都市やまと総合計画								所管課	ページ
		基本目標									
		1	2	3	4	5	6	7	8		
健康づくり普及啓発事業【再掲】	食生活教室の開催	○								健康づくり推進課	24
食育推進事業	食育イベントの実施	○								健康づくり推進課	24
介護予防・生活支援サービス事業【再掲】	口腔機能向上講習の実施		○							高齢福祉課	25
母子保健相談指導事業	もぐもぐ教室の開催			○						すくすく子育て課	25
こども食堂支援事業	こども食堂を実施する団体への補助金交付			○						こども・青少年課	26
保育所給食事業（市立保育所）	昼食やおやつ、延長保育における補食の提供			○						ほいく課	26
学校給食食育推進事業	夏休み親子料理教室等の実施				○					保健給食課	26
北部学校給食共同調理場運営事業	安全で良質な学校給食の提供				○					保健給食課	27
中部学校給食共同調理場運営事業	安全で良質な学校給食の提供				○					保健給食課	27
南部学校給食共同調理場運営事業	安全で良質な学校給食の提供				○					保健給食課	27
単独調理場運営事業	安全で良質な学校給食の提供				○					保健給食課	27
国際化推進事業	やまと世界料理の屋台村の開催							○		国際・男女共同参画課	28
うまいもの市開催事業	全国ふるさとまつりうまいもの市の開催							○		産業活性課	28
農産物消費拡大推進事業	地場農産物のPR							○		農政課	29
市民朝霧市支援事業	朝霧市、タヤけ市、おさんぼマートへの補助金交付							○		農政課	29

【プロジェクトに関連する個別計画】

- ・大和市食育推進計画
- ・大和市歯及び口腔の健康づくり推進計画

【関連計画における参考となる指標】

- ・大和市食育推進計画の評価指標

	実績値	目標値（2023年）
ふだん誰かと一緒に食事をする市民の割合	77.6% (2018年)	90.0%
学校給食の残食率（主に野菜を使った料理）	① 10% ② 12% (2017年)	① 8.8% ② 10.8%
食育に関心を持っている市民の割合	74.1% (2018年)	90.0%

- ・大和市歯及び口腔の健康づくり推進計画の評価指標

	実績値	目標値（2023年）
70歳代における咀嚼良好者の増加	73.8% (2018年度)	75.0%
健診目的で1年に1回以上歯科医院を受診している人（20歳以上）の割合	51.4% (2018年度)	60.0%

【各事業の取り組み内容】

健康づくり普及啓発事業（再掲）【担当課：健康づくり推進課】			
1-1-1-1 市民の間での健康づくり活動を活発にする			
◇2019年度の取り組み◇		2019年度の事業費：2,100千円	
【健康づくり普及啓発事業の実施】			
地域の健康づくりのリーダーとして活動する健康普及員を支援し健康づくりを推進します。			
地区の特徴を活かした健康普及員活動（ウォーキングや体操教室、健康測定会、食生活教室、健康普及員OB会による月例ウォーキング等）や市民まつり、健康都市やまとフェア等の参加など、市内全域で健康づくり活動を展開しています。			
*健康づくり普及啓発事業は、「身体を動かそうプロジェクト」「地域とつながろうプロジェクト」にも掲載されています。			
	2020年度	2021年度	2022年度
実施計画に定める事業費の推計（千円）	2,100	2,100	2,100

食育推進事業【担当課：健康づくり推進課】			
1-1-1-1 市民の間での健康づくり活動を活発にする			
◇2019年度の取り組み◇		2019年度の事業費：2,100千円	
【食生活改善推進員養成講座の開催】			
食生活改善推進員養成講座を開催し、食育の普及の担い手となる食生活改善推進員を養成します。			
【食生活改善推進協議会の活動支援】			
食生活改善推進員を対象とした食生活の知識や調理技術向上の研修会を実施します。			
【食生活改善活動】			
食生活改善推進員が地区活動として各種教室を開催し、バランスの良い食生活等の普及に努めます。			
【「ベジファースト・ラスト15～まず野菜 さいごは残さずごちそうさま～」の普及啓発】			
野菜から食べることの効果と残さず食べることの大切さを広めています。			
【食育講座の開催】			
食品衛生や食品表示等についての知識向上を図るため、講座を開催します。			
【食育イベントの開催】			
楽しみながら食育への関心を深めてもらうため、庁内・地域・企業等、食育関連団体と連携したイベントを開催します。			
【「やまと食の応援団」事業の実施】			
市が設定した要件にそって、健康的な食事ができる環境づくりに取り組んでいる飲食店事業者等を「やまと食の応援団」として市に登録し、自然に健康になれる食環境づくりを推進しています。			
*食育推進事業は、「地域とつながろうプロジェクト」にも掲載されています。			
	2020年度	2021年度	2022年度
実施計画に定める事業費の推計（千円）	2,100	2,200	2,200

介護予防・生活支援サービス事業（再掲）【担当課：高齢福祉課】

2-1-1-1 高齢の方にとって安心できる生活環境を整える

◇2019年度の取り組み◇ 2019年度の事業費：54,800千円

【訪問型サービス事業】
65歳以上の基本チェックリストの判定基準に該当しサービス利用が必要と判断された方を対象に、専門職（理学療法士、歯科衛生士等）が訪問指導する短期集中予防サービスを実施します。

【通所型サービス事業】
65歳以上の要支援1・2の認定を受けている方、基本チェックリストの判定基準に該当しサービス利用が必要と判断された方を対象に、つぎの短期集中予防サービス（全14回の講座）を実施します。

- ・運動機能向上講座
- ・心身機能向上講座
- ・運動・口腔機能向上講座

*介護予防・生活支援サービス事業は、「身体を動かそうプロジェクト」にも登載されています。

	2020年度	2021年度	2022年度
実施計画に定める事業費の推計（千円）	56,900	58,900	61,200

母子保健相談指導事業【担当課：すくすく子育て課】

3-1-1-1 こどもの健やかな発育・発達を支援する

◇2019年度の取り組み◇ 2019年度の事業費：4,200千円

【母子健康手帳の交付】
妊娠届出により、保健師が全数面接を行い、妊娠期から妊娠・出産・子育てや食事・栄養に関する相談に随時応じます。

【各種啓発教室等の開催】
プレママ・パパ教室、もぐもぐ教室、1歳児育児教室、2歳児歯科相談、おべんとう教室を開催し、妊娠期から幼児期の育児や食育に関する普及啓発や相談に応じます。

【育児相談等の実施】
定例育児相談を月3回実施し、身長・体重の測定と、乳幼児の育児や食事、発育、発達の相談に保健師、管理栄養士が応じます。また、「子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）」に伴う、小児科医によるエコチル育児相談を月1回実施します。
電話での育児や栄養の相談を随時行います。

	2020年度	2021年度	2022年度
実施計画に定める事業費の推計（千円）	4,900	4,900	4,900

こども食堂支援事業【担当課：こども・青少年課】 3-1-1-1 こどもの健やかな発育・発達を支援する			
◇2019年度の取り組み◇		2019年度の事業費：3,800千円	
【運営費等の補助】 大和市内でこども食堂を実施する4団体に対して補助金を交付し、子どもの孤食を減らすとともに、子どもにとって安心できる地域の居場所作りと保護者への子育て支援を行います。			
	2020年度	2021年度	2022年度
実施計画に定める事業費の推計（千円）	3,800	3,800	3,800

保育所給食事業（市立保育所）【担当課：ほいく課】 3-2-1-1 保護者のニーズに応じてきめ細やかな保育等を提供する			
◇2019年度の取り組み◇		2019年度の事業費：104,000千円	
【給食調理業務の実施】 管理栄養士が栄養価計算をし、作成した献立に基づき昼食、おやつ、延長保育における補食を提供しています。 乳幼児期に必要な栄養素を摂取するだけでなく、「楽しく食べる子ども」をめざして、保護者とともに子どもの健全な発育を確認しながら、食育に取り組んでいます。 給食を皆で食べることにより、子どもの食べる意欲を育て、よりよい食習慣の確立をめざしています。			
	2020年度	2021年度	2022年度
実施計画に定める事業費の推計（千円）	105,000	105,000	123,000

学校給食食育推進事業【担当課：保健給食課】 4-2-1-1 こどもが健康的な生活行動や習慣を身につけられるようにする			
◇2019年度の取り組み◇		2019年度の事業費：600千円	
【給食展を開催】 給食を通じて、食や食を取り巻く人、自然の恵みなどに感謝するきっかけを提供するとともに、本市学校給食についての情報発信を行っています。			
【夏休み親子料理教室を実施】 楽しく料理をすることにより、自分で作る喜びを知っていただくとともに、給食への理解を深めるきっかけを提供しています。			
	2020年度	2021年度	2022年度
実施計画に定める事業費の推計（千円）	600	600	600

学校給食共同調理場運営事業（北部・中部・南部）【担当課：保健給食課】

4-2-1-1 こどもが健康的な生活行動や習慣を身につけられるようにする

◇2019年度の取り組み◇

2019年度の事業費：（北部）163,000千円、（中部）184,000千円、（南部）188,000千円

【給食調理業務】

安全で良質な学校給食を提供するため、衛生管理には細心の注意をはらい、給食を調理しています。

【施設運営管理】

学校給食を調理する環境を安全かつ清潔に保つため、調理場施設の運営をしています。

	2020年度	2021年度	2022年度
実施計画に定める 事業費の推計（千円）	（北部）188,000 （中部）190,000 （南部）191,000	（北部）188,000 （中部）190,000 （南部）190,000	（北部）188,000 （中部）190,000 （南部）190,000

単独調理校運営事業【担当課：保健給食課】

4-2-1-1 こどもが健康的な生活行動や習慣を身につけられるようにする

◇2019年度の取り組み◇

2019年度の事業費：239,000千円

【給食調理業務】

安全で良質な学校給食を提供するため、衛生管理には細心の注意をはらい、給食を調理しています。

【施設運営管理】

学校給食を調理する環境を安全かつ清潔に保つため、調理場施設の運営をしています。

	2020年度	2021年度	2022年度
実施計画に定める 事業費の推計（千円）	221,000	227,000	233,000

国際化推進事業【担当課：国際・男女共同参画課】

8-1-3-1 多様な文化を認め合いだれもが住みよい環境をつくる

◇2019年度の取り組み◇ 2019年度の事業費：14,500千円

【外国語通訳や通訳・翻訳ボランティアの派遣】

(公財)国際化協会に週4日、1ヶ国語、市役所内に週1日、1ヶ国語の通訳窓口を設置します。通訳・翻訳ボランティアにより、行政文書の翻訳、公的機関への通訳派遣など、外国人市民の支援を実施します。

【つま読み書きの部屋の運営(協働事業)】

「ひらがな、カタカナが読める外国人」を対象に、つま読み書きの部屋を年3期(1期4回)実施します。

日常生活の中で「読んだり、書いたり」するものを取り上げ、日本語を勉強します。

【やまと世界料理の屋台村の開催】

世界各国の料理や、音楽、舞踊などを通じ、広く市民の皆さんに外国文化への興味をもってもらうため、やまと広場・図書館の道にて、やまと世界料理の屋台村を開催します。

	2020年度	2021年度	2022年度
実施計画に定める事業費の推計(千円)	14,000	14,000	14,000

うまいもの市開催事業【担当課：産業活性課】

8-2-1-2 商工業に対する市民の関心を高める

◇2019年度の取り組み◇ 2019年度の事業費：9,400千円

【うまいもの市の開催】

毎年10月第1土曜日とその翌日曜日の2日間、やまと広場及び図書館の道を会場として、全国各地の特産品や名産品(うまいもの)を楽しむことができる「全国ふるさとまつり うまいもの市」を開催しています。

(令和元年度の開催概要)

- ・開催日時：10月5日(土曜日)10時~17時、10月6日(日曜日)10時~16時
- ・参加団体：参加市町村24自治体、市内県人会15県人会、大和市特産品・推奨品協議会
- ・来場者数：約3万5千人

	2020年度	2021年度	2022年度
実施計画に定める事業費の推計(千円)	9,400	9,400	9,400

農産物消費拡大推進事業【担当課：農政課】

8-2-3-2 地域農産物を消費しやすい環境を整える

◇2019年度の取り組み◇ 2019年度の事業費：500千円

【米作文及び大和で採れた野菜作文コンクールの実施】

「米」と「大和で採れた野菜」をテーマとする作文を募集することにより、児童の「米」と「大和で採れた野菜」に対する意識の高揚を図り、さらに日本型食生活の定着、「米」と「大和で採れた野菜」の消費拡大を図ります。

【収穫物活用体験料理教室の開催】

市内農場での野菜の収穫と地場農産物を使った料理教室を一緒に体験してもらうことで、地場農産物に対する理解・普及を図ります。

【親子農業見学会の開催】

大和市内の農家を見学する事により農業に親しんでもらい、地場農産物に対する意識を高め、消費拡大を図ります。

【地場農産物の広報活動】

農業団体等が開催するイベント等を積極的に支援し、イベント等で農産物直売所マップの配布などPR活動を行うことで、地場農産物の消費拡大を図ります。

	2020年度	2021年度	2022年度
実施計画に定める事業費の推計（千円）	500	500	500

市民朝霧市支援事業【担当課：農政課】

8-2-3-2 地域農産物を消費しやすい環境を整える

◇2019年度の取り組み◇ 2019年度の事業費：600千円

【朝霧市、夕やけ市、おさんぽマートの実施に対する補助金の交付】

新鮮で安価な生産物を提供している朝霧市や夕やけ市などの運営をしている大和市民朝霧市推進委員会を支援します。

	2020年度	2021年度	2022年度
実施計画に定める事業費の推計（千円）	600	600	600



事例紹介 気づきをうながす食育推進計画と歯及び口腔の健康づくり推進計画

■気づきをうながす食育推進計画

人生で何万回にも及ぶ食という営み。食が充実すれば、生涯にわたる心身の健康につながることでしょう。

食に関する知識や興味関心を高めるためには、一人一人が食育の大切さを実感し、主体的に取り組む食育活動が重要です。そこで、大和市では「気づきをうながす食育計画」をコンセプトに、手に取って読んでもらえるよう、身近な話題や食育に関する本の紹介を充実させた食育推進計画を策定しました。

大和市立図書館司書 × 市管理栄養士

おすすめの「食育の本」

危険病に関する食育の本を掲載しています。その中の一部をご紹介します。

1 気づきに促す食育の本

2 食育がすすむ食育の本

3 食について考えさせられる本

4 食育への思いやりを育てる本

5 食育の大切さを伝える本

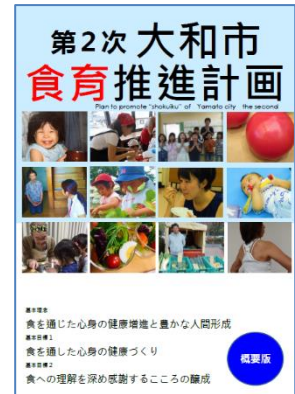
6 食文化への興味を高める本

7 食育の楽しさを伝える本

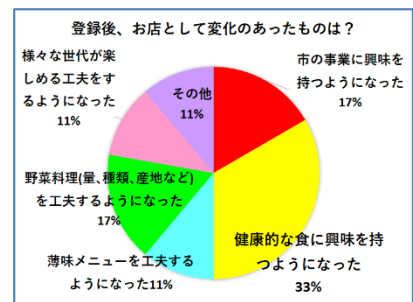
◇やまと食の応援団誕生の秘密◇

健康寿命の延伸に向け、国は「健康無関心層も自然に健康になれる食環境づくり」の必要性を示しています。そのため、基準を厳しく定めた「健康応援店」などを進める自治体がある中、大和市ではあえて参加しやすい基準を設定し、「やまと食の応援団」として登録することで、普及啓発の場の拡大と健康的な食環境づくりを進めています。

登録した飲食店等へのアンケート結果では「健康的な食に興味を持つようになった」「野菜料理を工夫するようになった」など、ほぼすべての飲食店に健康意識の変化があった他、「セットメニューに野菜の小皿を追加した」「お通しに野菜料理を提供した」など、健康的な食環境整備につながっています。



食育推進計画



飲食店等へのアンケート結果

■大和市歯及び口腔の健康づくり推進計画

大和市では、市民の皆様が自ら歯科疾患の予防や口腔機能維持向上を積極的に推進できるよう、「大和市歯及び口腔の健康づくり推進計画」を策定し、毎月8日を「歯の日」を定めて、ご自身やご家族の歯と口腔の健康に意識を向けるきっかけとしております。市民が歯と口腔の健康づくりに自主的に取り組み、心身ともに健やかな生活が送れるよう、取り組んでまいります。

◇糖尿病と歯周病の意外な関係◇

歯と口腔の健康を守ることは、食事や会話を楽しむなど毎日の生活を豊かにするために大切です。歯周病があると、歯周病から出る毒素により、インスリン生成が抑制され、血糖値が上昇しやすくなります。また、歯の喪失により噛めなくなり、血糖値が上昇しやすくなります。歯周病の治療をすることで、血糖値のコントロールがしやすくなります。このように糖尿病と歯周病には密接な関係があるのです。片方だけの治療では高い効果は得られません。

大和市では、糖尿病重症化予防の訪問対象者に歯科受診や歯周病予防のチラシを配るなど、いつまでも元気に楽しく食べるための普及啓発を進めています。



市民の取り組み 「大和市食生活改善推進員」の活動

私たちは食生活改善推進員養成講座を受講した後に自主ボランティアとして、食生活改善推進活動をしています。

■設立

昭和40年6月1日

■会員数

82名（2019年4月1日現在）

■目標

1. 健康づくり事業の推進
2. 生活習慣病予防のために多様な食品で栄養のバランスを考えた食生活の普及
3. よい食習慣は幼児期からの推進活動
4. 地場産物を使った食文化の伝承の普及活動
5. 高齢者に心豊かな食事の普及
6. 食べ物を大切に上手な活用を、生ごみを少なく環境浄化に努める

■活動状況

健康づくり料理教室



健康都市やまとフェア



おやこの食育教室



消費生活展





地域とつながろうプロジェクト

人が健康になるためには、一人ひとりが健康でありたいと考え、健康であり続けるために努力することが重要です。健康づくりに取り組む市民が増えるように、健康づくりに関する情報発信や、市民参加を促す取り組みを進めます。

【健康都市プログラム掲載事業】

地域とつながろうプロジェクト一覧 「健康都市やまと総合計画 実施計画」における 主要な事務事業より抽出	主な取り組み	健康都市やまと総合計画								所管課	ページ	
		基本目標										
		1	2	3	4	5	6	7	8			
健康づくり普及啓発事業【再掲】	健康普及員の支援	○									健康づくり推進課	33
食育推進事業【再掲】	食生活改善推進員の養成	○									健康づくり推進課	33
大和市健康ポイント事業	健康ポイント制度の実施	○									健康づくり推進課	34
一般介護予防事業【再掲】	介護予防サポーターの養成	○									高齢福祉課	34
おひとり様などの終活支援事業	葬儀生前契約のサポート		○								健康福祉総務課	35
小学校地域教育力活用推進事業	学校支援人材ボランティアの登録				○						指導室	35
中学校地域教育力活用推進事業	学校支援人材ボランティアの登録				○						指導室	35
青少年指導者育成支援事業	青少年の健全育成を進める団体の活動支援				○						子ども・青年課	35
自然観察センター・しらかしのいえ運営事業	市民ボランティアの育成						○				みどり公園課	36
地域公共交通施策事業	地域乗合交通の支援						○				街づくり総務課	36
コミュニティバス運行事業	「のろっと」「やまとんGO」の運行						○				街づくり総務課	37
自転車利用環境推進事業	良好な自転車利用環境の整備						○				道路安全対策課	37
健康都市大学事業	市民が講師となる講座の企画、運営							○			図書・学び交流課	38
地域スポーツ推進事業【再掲】	スポーツボランティアの育成							○			スポーツ課	39
スポーツ関係団体支援事業	スポーツ関連団体の活動支援							○			スポーツ課	39
自治会活動支援事業	自治会活動の支援								○		生活あんしん課	40
コミュニティセンター管理運営事業	コミュニティセンターの管理運営								○		生活あんしん課	40
市民活動センター管理運営事業	市民活動に関する情報の提供								○		市民活動課	40
市民活動推進事業	協働事業提案制度の実施								○		市民活動課	41

【プロジェクトに関連する個別計画】

- ・ 地域福祉計画
- ・ 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画
- ・ 文化芸術振興基本計画
- ・ 生涯学習推進計画

【関連計画における参考となる指標】

- ・ 健康都市やまと総合計画の成果を計る主な指標

	実績値	中間目標値 (2021年度)	目標値 (2023年度)
地域に支え合う人のつながりが あると思う市民の割合	43.9% (2016年)	48.5%	50.0%

- ・ 大和市地域福祉計画の成果を計る主な指標

	実績値	中間目標値 (2021年度)	目標値 (2023年度)
民生委員・児童委員充足率	99.3% (2017年度)	100.0%	100.0%

- ・ スポーツ推進計画の成果指標

	実績値	中間目標値 (2021年度)	目標値 (2023年度)
総合型地域スポーツクラブを知 っている市民の割合	4.9% (2017年度)	8.3%	10.0%

【各事業の取り組み内容】

健康づくり普及啓発事業（再掲）【担当課：健康づくり推進課】			
1-1-1-1 市民の間での健康づくり活動を活発にする			
◇2019年度の取り組み◇		2019年度の事業費：2,100千円	
【健康づくり普及啓発事業の実施】			
地域の健康づくりのリーダーとして活動する健康普及員を支援し健康づくりを推進します。			
地区の特徴を活かした健康普及員活動（ウォーキングや体操教室、健康測定会、食生活教室、健康普及員OB会による月例ウォーキング等）や市民まつり、健康都市やまとフェア等の参加など、市内全域で健康づくり活動を展開しています。			
*健康づくり普及啓発事業は、「身体を動かそうプロジェクト」「楽しく食べようプロジェクト」にも掲載されています。			
	2020年度	2021年度	2022年度
実施計画に定める事業費の推計（千円）	2,100	2,100	2,100

食育推進事業（再掲）【担当課：健康づくり推進課】			
1-1-1-1 市民の間での健康づくり活動を活発にする			
◇2019年度の取り組み◇		2019年度の事業費：2,100千円	
【食生活改善推進員養成講座の開催】			
食生活改善推進員養成講座を開催し、食育の普及の担い手となる食生活改善推進員を養成します。			
【食生活改善推進協議会の活動支援】			
食生活改善推進員を対象とした食生活の知識や調理技術向上の研修会を実施します。			
【食生活改善活動】			
食生活改善推進員が地区活動として各種教室を開催し、バランスの良い食生活等の普及に努めます。			
【「ベジファースト・ラスト15～まず野菜 さいごは残さずごちそうさま～」の普及啓発】			
野菜から食べることの効果と残さず食べることの大切さを広めています。			
【食育講座の開催】			
食品衛生や食品表示等についての知識向上を図るため、講座を開催します。			
【食育イベントの開催】			
楽しみながら食育への関心を深めてもらうため、庁内・地域・企業等、食育関連団体と連携したイベントを開催します。			
【「やまと食の応援団」事業の実施】			
市が設定した要件にそって、健康的な食事ができる環境づくりに取り組んでいる飲食店事業者等を「やまと食の応援団」として市に登録し、自然に健康になれる食環境づくりを推進しています。			
*食育推進事業は、「楽しく食べようプロジェクト」にも掲載されています。			
	2020年度	2021年度	2022年度
実施計画に定める事業費の推計（千円）	2,100	2,200	2,200

大和市健康ポイント事業【担当課：健康づくり推進課】			
1-1-1-1 市民の間での健康づくり活動を活発にする			
◇2019年度の取り組み◇		2019年度の事業費：5,100千円	
【健康ポイント制度の実施】			
健康都市大学の講座の一部をポイント対象事業として実施します。			
自治会等が実施する健康に関する事業をポイント対象事業にできるようにし（ヤマトン健康ポイント協力認定団体制度）、地域で参加しやすい環境を整えます。			
	2020年度	2021年度	2022年度
実施計画に定める事業費の推計（千円）	5,100	5,100	5,100

一般介護予防事業（再掲）【担当課：高齢福祉課】			
1-1-1-2 高齢の方の生き生きとした毎日を応援する			
◇2019年度の取り組み◇		2019年度の事業費：34,300千円	
【介護予防普及啓発】			
介護予防に関する普及啓発のため、健康遊具体験会や介護予防セミナー（運動セミナー、口腔セミナー、栄養セミナー）を開催します。			
【ふれあいネットワーク事業の実施】			
大和市社会福祉協議会への委託により、地区社会福祉協議会の活動（ふれあい訪問、ミニサロン開催、個別支援）を支援します。			
【介護予防サポーター養成】			
市内9カ所の地域包括支援センターへの委託により、介護予防や認知症に関する情報を地域に普及するための活動を行うサポーターを養成するための講座を開催します。			
【コグニバイクの普及啓発】			
認知機能の向上を目的とした、脳と体の両方を同時に活動させる自転車型運動機器「コグニバイク」2台を、シリウス4階の健康度見える化コーナーに設置しています。週3回支援員がつき、利用方法についての支援を行います。			
*一般介護予防事業は、「身体を動かそうプロジェクト」にも掲載されています。			
	2020年度	2021年度	2022年度
実施計画に定める事業費の推計（千円）	62,200	35,500	63,400

おひとり様などの終活支援事業【担当課：健康福祉総務課】

2-1-1-1 高齢の方にとって安心できる生活環境を整える

◇2019年度の取り組み◇ 2019年度の事業費：3,000千円
 主にひとり暮らしの高齢の方々の終活に関する不安に「わたしの終活コンシェルジュ」が寄り添い、葬儀等の生前契約の締結や、死後の遺品整理、相続財産の処分などの段取りが出来るように支援を行います。
 保健、医療、福祉などの幅広い分野で、高齢のひとり暮らしの方々などが疑問に思うことの多い内容を解説したり、相談窓口を紹介するなどした冊子「生活お役立ちガイド」を発行します。
 これまでの人生を振り返り、自分自身の情報や要望・希望を記載して残しておくことで、万一のことがあった際に家族などが役立つノートとして、エンディングノートを発行します。

	2020年度	2021年度	2022年度
実施計画に定める事業費の推計（千円）	3,000	3,000	3,000

地域教育力活用推進事業（小学校・中学校）【担当課：指導室】

4-2-2-2 社会に開かれた学校教育を推進する

◇2019年度の取り組み◇ 2019年度の事業費：（小学校）1,100千円、（中学校）700千円

【学校評議員の委嘱】

各学校の推薦により、学校評議員を委嘱します。

【地域ボランティアによる学習支援の実施】

学校支援ボランティア人材バンクを作成し各学校へ配付します。

	2020年度	2021年度	2022年度
実施計画に定める事業費の推計（千円）	（小学校）1,100 （中学校）700	（小学校）1,100 （中学校）700	（小学校）1,100 （中学校）700

青少年指導者育成支援事業【担当課：こども・青少年課】

4-2-3-2 青少年育成団体の活動を活発にする

◇2019年度の取り組み◇ 2019年度の事業費：7,600千円

【青少年育成団体への補助金の交付】

地域で健全育成を進める3団体に、補助金による支援と、行政内に事務局を置き人的な支援を行い指導者の育成を図ります。

【青少年センターまつりや外遊びイベント等の実施】

青少年センターまつりや外遊びのイベント等、外遊びに関する基本条例の趣旨に沿った事業を実施します。

	2020年度	2021年度	2022年度
実施計画に定める事業費の推計（千円）	7,800	7,300	7,800

自然観察センター・しらかしのいえ運営事業【担当課：みどり公園課】

6-1-3-2 地域緑化の推進を図る

◇2019年度の取り組み◇ 2019年度の事業費：100千円

【自然観察センター・しらかしのいえの運営】

本施設の運営方針について、市・管理者・ボランティア団体の3者で年6回委員会を開催します。

【市民ボランティアの育成】

自然観察センター・しらかしのいえで活動しているボランティア団体向けに研修会を年1回行います。また、緑地で活動するための支援として、トコロジスト養成講座を年1回開催します。

	2020年度	2021年度	2022年度
実施計画に定める 事業費の推計（千円）	100	100	100

地域公共交通施策事業【担当課：街づくり総務課】

6-3-1-1 日常生活の様々な場面に応じた移動手段を用意する

◇2019年度の取り組み◇ 2019年度の事業費：48,600千円

【地域乗合交通の支援】

地域における移動手段創出の取り組みとして、市民による地域交通（のりあい）を2010年度から実施しています（住民組織と市の協働事業）。地域としての運営費の確保や、運転手の高齢化等の課題を解消し、将来的に安定した交通サービスを提供していくため、2018年10月1日より運行を市の役割とすることとし、バス事業者に運行を業務委託して、試験運行を実施（運賃150円）しました。2019年4月1日からは本格運行に移行し、土・日曜日、祝日の運行ダイヤを設定するとともに、バス停を1箇所新設します。

【総合交通施策の推進】

市民の交通利便性の向上に向け、バス停環境整備等（ベンチ、案内サイン整備等）、引き続き大和市総合交通施策に沿った施策を展開します。

	2020年度	2021年度	2022年度
実施計画に定める 事業費の推計（千円）	56,000	50,100	50,100

コミュニティバス運行事業【担当課：街づくり総務課】

6-3-1-1 日常生活の様々な場面に応じた移動手段を用意する

◇2019年度の取り組み◇ 2019年度の事業費：343,000千円

【「のろっと」の運行】

コミュニティバス「のろっと」を北部・南部2ルートで運行します。

	北部ルート	南部ルート
運行距離	約18km	約21km
運行本数 (1日あたり)	・中央林間～市役所 平日 8便／土休日 7便 ・市役所～中央林間 平日 7便／土休日 6便	11便
運行間隔	100～120分	50～105分
運賃	100円	

【のろっとにICカード導入】

2020年2月1日より、のろっとの全車両に交通系ICカードを導入します。

【「やまとんGO」の運行】

ワゴン車を使用して狭い住宅地も通れるコミュニティバス「やまとんGO」を、市内4地域において運行します。2019年10月1日より、中央林間西側地域及び桜ヶ丘地域において、バス停新設及びルート変更並びにバス停名の一部変更を実施します。

	中央林間西側地域	相模大塚地域	深見地域	桜ヶ丘地域
運行距離	約7.1km	約8.1km	約9.0km	約8.6km
運行本数 (1日あたり)	各ルート44便			
運行間隔	約30分			
運賃	150円			

	2020年度	2021年度	2022年度
実施計画に定める 事業費の推計(千円)	336,000	336,000	426,000

自転車利用環境推進事業【担当課：道路安全対策課】

6-3-2-1 安全に自転車が利用できる環境や快適な歩行空間を整える

◇2019年度の取り組み◇ 2019年度の事業費：31,100千円

【自転車通行空間整備】

新たな自転車通行空間を創出するため、測量及び設計を行います。

歩道上に路面シート等を設置し、自転車の交通ルール啓発及び歩行者の安全確保を図ります。

	2020年度	2021年度	2022年度
実施計画に定める 事業費の推計(千円)	14,000	114,000	134,000

健康都市大学事業【担当課：図書・学び交流課】

7-1-2-1 市民の主体的な学びや学び合いを活発にする

◇2019年度の取り組み◇ 2019年度の事業費：4,600千円

【「市民でつくる健康学部」の運営】

市民が受講生として講義を聴いて学ぶだけでなく、自身が持つスキルや知識、経験を基に講師となった市民講師による講座を、年末年始を除いて毎日実施します。

【「人の健康学部」「まちと社会の健康学部」の運営】

市民向けの講座を実施する市の各部署や指定管理者、外郭団体と連携します。

事務局直営事業として連続講座を年4本実施します。

【名誉教授、客員教授による講義】

客員教授による特別講義、年度末の修了式で名誉教授による特別講演会を実施します。

【受講ポイントカードの配布】

全講座に共通の受講ポイントを導入し、受講の度にスタンプを押印します。

【健康都市大学ガイドブックの配布】

健康都市大学の説明や講座情報をまとめたガイドブックを年2回作成し、配布します。

【修了式の開催】

年度末に修了式を開催し、受講ポイントが20ポイントを超えた市民への修了証授与や、「市民でつくる健康学部」市民講師への感謝状贈呈を実施します。併せて名誉教授による特別講演会を実施します。

	2020年度	2021年度	2022年度
実施計画に定める事業費の推計（千円）	4,300	4,300	4,300

地域スポーツ推進事業（再掲）【担当課：スポーツ課】

7-3-1-1 市民がスポーツを楽しむ機会を提供する

◇2019年度の取り組み◇ 2019年度の事業費：12,300千円

【「夢の教室」開催】
 市立小学校5年生及び市立中学校2年生全クラスを対象に「夢を持つことの大切さ」「仲間と協力することの大切さ」を伝えていくことを目的とした「夢の教室」を開催します。
 （2019年度は小学校64クラス、中学校48クラスで実施）

【総合型地域スポーツクラブの創設、活動支援】
 総合型地域スポーツクラブが自律的で主体的な運営を行えるよう、団体の会員拡大や活動基盤安定に向けた支援を行います。

【「トップスポーツ観戦デー」の実施】
 トップレベルの大会等を市内の競技施設に誘致して開催し、スポーツに親しむ機会を提供します。
 （2019年度はラグビー関東大学対抗秋季公式戦を開催）

【スポーツボランティアの育成】
 スポーツボランティアに関わる情報・機会を提供するとともに、スポーツを支えるボランティア活動への参加拡大及び推進を図ります。
 （2019年度は大和スポーツボランティアサミットを開催）

*地域スポーツ推進事業は、「身体を動かそうプロジェクト」にも掲載されています。

	2020年度	2021年度	2022年度
実施計画に定める 事業費の推計（千円）	10,200	10,200	10,200

スポーツ関係団体支援事業【担当課：スポーツ課】

7-3-1-3 スポーツ選手や団体等の活動を支援する

◇2019年度の取り組み◇ 2019年度の事業費：4,200千円

市内のスポーツの普及と振興のため、市内スポーツ関連団体に対して補助金を交付します。
 （大和市地区体育振興会、大和市体育協会、大和市スポーツ少年団、大和市レクリエーション協会、大和市軽スポーツ協会）

	2020年度	2021年度	2022年度
実施計画に定める 事業費の推計（千円）	4,200	4,200	4,200

自治会活動支援事業【担当課：生活あんしん課】			
8-3-1-1 自治会などの地域組織の充実、活性化を図る			
◇2019年度の取り組み◇		2019年度の事業費：22,300千円	
【自治連事務局職員の人件費等を補助】 自治会と行政との連絡調整の窓口である自治連の活動を支援する一環として、市が人件費等を補助しています。			
【自治会館の賃借料の一部を補助】 自治会館として使用する土地、建物の賃借料に対して補助金を交付しています。			
【自治会で管理する掲示板の新設、修繕を補助】 自治会活動や市からのお知らせを周知するために重要な役割を持つ、掲示板の新設や修繕等に対し補助金を交付しています。			
【自治会活性化のためのラジオ体操事業奨励金の交付】 自治会活性化や加入促進、自治会員の健康増進を図るため、ラジオ体操を6ヶ月以上継続して実施する自治会に対し、奨励金を交付しています。			
	2020年度	2021年度	2022年度
実施計画に定める事業費の推計（千円）	22,300	22,300	22,300

コミュニティセンター管理運営事業【担当課：生活あんしん課】			
8-3-1-1 自治会などの地域組織の充実、活性化を図る			
◇2019年度の取り組み◇		2019年度の事業費：128,000千円	
【指定管理者制度による管理運営】 地域に居住する者で構成された各会館の管理運営委員会と指定管理に関する協定を締結し、相互に協力し、適正かつ円滑に施設の管理運営を行っています。			
【土地賃借料】 桜丘及び上和田会館の土地利用について、地権者と賃貸借契約を締結し賃借料を支払います。			
	2020年度	2021年度	2022年度
実施計画に定める事業費の推計（千円）	133,000	134,000	135,000

市民活動センター管理運営事業【担当課：市民活動課】			
8-3-2-1 誰もが市民活動に参加しやすい環境をつくる			
◇2019年度の取り組み◇		2019年度の事業費：7,000千円	
【市民活動団体との協働による管理運営】 市民活動拠点ベテルギウス内の市民活動センターを市民団体と協働で管理運営し、市民や市民団体に対する活動支援を行います。			
【市民活動に関する情報の提供】 特にシニア世代が知識や経験を活かせるようなボランティア情報を提供します。			
	2020年度	2021年度	2022年度
実施計画に定める事業費の推計（千円）	7,000	7,000	7,000

市民活動推進事業【担当課：市民活動課】

8-3-2-2 市民の主体的な市民活動を支援する

◇2019年度取り組み◇ 2019年度の事業費：1,800千円

【協働事業等提案制度の実施】

協働事業提案を募集し、推進するほか、市民活動の支援、周知を行います。

【新しい公共を支える市民活動補償制度（ボランティア保険）の運用】

市民が安心して市民活動に参加し従事できるよう補償することにより、市民活動を推進し多様な価値観を認めあう豊かで活力ある地域社会の実現に寄与することを目的としています。

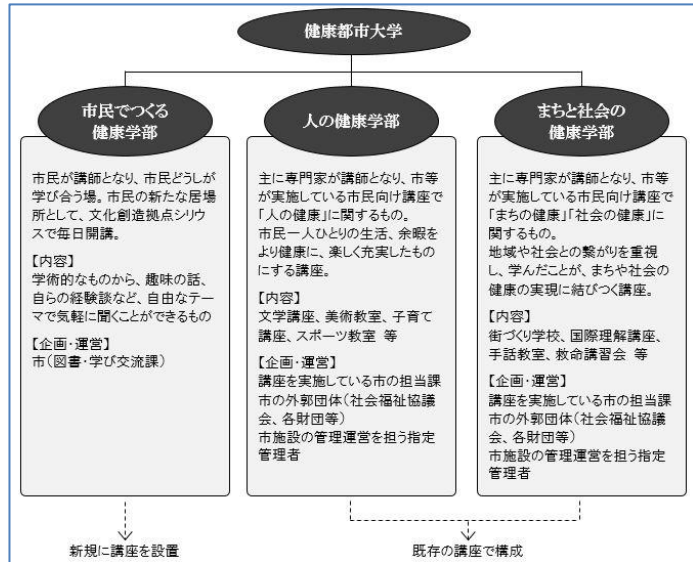
	2020年度	2021年度	2022年度
実施計画に定める 事業費の推計（千円）	1,800	1,800	1,800



■3つの学部で構成する市民の学びの場

「健康都市大学」は、市民が受講生として講義を聴いて学ぶだけでなく、自身が持つスキルや知識、経験を基に講師となる「市民でつくる健康学部」、市の各部署や外郭団体などが市民向けに実施している講座から成る「人の健康学部」「まちと社会の健康学部」の合わせて3つの学部で構成しています。

学びを通じた市民の新たな居場所作りを目指すほか、全講座に共通の受講ポイントを導入するなど、学びの場をより楽しく魅力的なものにします。



■市民講師を常時募集中

「市民でつくる健康学部」では、シリウスで元日と大晦日を除く毎日、講座を開催し、連日多くの受講生で賑わっています。自らの経験談や趣味の話など自由なテーマで講師を務めていただく、市民講師を常時募集しています。応募資格は市内在住者であることのみ。経験や知識を生かして講義をしてみませんか。

応募用紙を直接、郵送、またはFAXで担当課へご提出いただくか、インターネットでのフォームによる応募も可能です。



リーディングプロジェクト



市民の取り組み 「大和市健康普及員」の活動

地域において健康づくりを推進するためには、行政だけでなく、市民の方々の活動が必要不可欠です。市内で健康づくりを目的に地域に密着した活動を行っているのが、大和市健康普及員の皆さんです。大和市健康普及員は自治会から選出され、地域における健康づくりの中心的な役割を果たしています。

72人(定員)の健康普及員が市内11地区において、様々な事業を企画し、実施しているほか、「健康都市やまとフェア」、「大和市民まつり」、「コミセン祭り」等のイベントに参加し、保健師と一緒に健康づくりに関する普及・啓発活動を行っています。

■主な活動

- 骨量測定や体組成測定などの健康測定会
- 体操教室
- ウォーキング
- 「食生活改善推進員」の協力による料理教室



体操教室(ラフターヨガ)

また、市民が心身の健康を意識し、自分に合った方法で健康づくりに取り組めるよう、保健師による年4回の健康普及員育成講座、その他研修等の参加を通じて、積極的な情報収集や研修に努め、地域の活動にフィードバックしています。



研修



大和市ウォーキングマップを作成し、健康普及員OB会による月例ウォーキングも開催しています。

【健康普及員だより】年1回広報誌を発行



あなたも健康普及員になって一緒に活動してみませんか



命を守ろうプロジェクト

市民の健康増進の前提となるのが、市民の生命、身体を守ることです。犯罪や事故の発生を未然に防ぎ、病気を事前に予防するために、地域防犯の推進や利用しやすい検診制度の拡充などを進めていきます。

【健康都市プログラム掲載事業】

命を守ろうプロジェクト一覧 「健康都市やまと総合計画 実施計画」における 主要な事務事業より抽出	主な取り組み	健康都市やまと総合計画								所管課	ページ
		基本目標									
		1	2	3	4	5	6	7	8		
		人				まち		社会			
健康相談・教育事業	24時間健康相談の実施	○								健康づくり推進課	45
健康診査事業	特定健康診査や各種がん検診の実施	○								健康づくり推進課	45
自殺対策事業	自殺対策講演会の開催	○								障がい福祉課	45
救急医療情報活用事業	救急医療情報キットの配布	○								健康づくり推進課	46
高齢者見守り事業	高齢者見守り（緊急通報）システムの設置支援		○							高齢福祉課	46
妊婦健康診査事業	妊婦健康診査費用の助成			○						すくすく子育て課	46
妊産婦・新生児等訪問事業	妊産婦・新生児等の家庭訪問の実施			○						すくすく子育て課	47
子育て世代包括支援センター事業	電話相談、家庭訪問の実施、ケアプランの作成			○						すくすく子育て課	47
児童生徒安全対策事業	防犯ブザーの配布				○					指導室	47
いじめ等対策事業	教育フォーラムや教職員を対象とした研修会の開催				○					指導室	48
地域防災訓練事業	地域防災訓練指導の実施					○				消防署管理課	48
地域防犯活動推進事業	防犯教室等の開催					○				生活あんしん課	49
交通安全啓発事業	交通安全教室等の開催					○				道路安全対策課	49
応急手当普及啓発事業	各種救命講習会の開催					○				救急救命課	50
救急活動事業	傷病者の救命処置及び医療機関への搬送					○				消防署管理課	50

【プロジェクトに関連する個別計画】

- ・地域福祉計画
- ・やまと自殺対策総合計画
- ・いじめ防止基本方針
- ・危機管理基本方針

【関連計画における参考となる指標】

- ・健康都市やまと総合計画の成果を計る主な指標

	実績値	中間目標値 (2021年)	目標値 (2023年)
子育てに関する不安を相談できる場があると思う市民の割合	52.2% (2016年)	58.0%	60.0%
介護を必要とする人が安心して暮らしていると思う市民の割合	49.4% (2016年)	54.5%	56.5%

- ・地域福祉計画の成果を計る主な指標

	実績値	中間目標値 (2021年度)	目標値 (2023年度)
乳幼児家庭全戸訪問事業による訪問率	99.6% (2017年度)	100.0%	100.0%

- ・やまと自殺対策総合計画の数値目標

	実績値	目標値 (2022年)
自殺死亡率	14.5% (2017年)	12.3%以下

【各事業の取り組み内容】

健康相談・教育事業【担当課：健康づくり推進課】			
1-1-1-1 市民の間での健康づくり活動を活発にする			
◇2019年度の取り組み◇		2019年度の事業費：26,700千円	
【健康講座、訪問指導等の実施】			
シリウスの健康テラスで健康講座を週3回実施し、地域においても健康教室等を開催することにより健康づくりの普及啓発を行っています。			
家庭訪問による個別指導は、糖尿病重症化予防・介護予防（低栄養改善事業）・認知機能低下防止・口腔機能低下防止を目的とし、実施しています。			
【24時間健康相談の実施】			
専門職による24時間電話相談を、委託により実施しています。			
	2020年度	2021年度	2022年度
実施計画に定める事業費の推計（千円）	33,000	33,000	33,000

健康診査事業【担当課：健康づくり推進課】			
1-1-2-1 自らの健康状態を把握できる環境を整える			
◇2019年度の取り組み◇		2019年度の事業費：823,000千円	
【がん検診（胃、肺、大腸、乳房、子宮、前立腺）】			
市内医療機関や保健福祉センター等の施設でがん検診を実施しています。			
【未受診者への再勧奨対象年齢の拡大】			
がん検診対象者のうち、25・30・35・40・45・50・55・60歳の未受診の方へ、再勧奨を実施します。			
【精密検査受診未把握者の追跡調査】			
がん検診で精密検査が必要と診断され、その後の検査結果を確認できていない方を対象に、受診状況の追跡調査を実施します。			
	2020年度	2021年度	2022年度
実施計画に定める事業費の推計（千円）	839,000	856,000	872,000

自殺対策事業【担当課：障がい福祉課】			
1-1-2-3 心の健康の保持を図る			
◇2019年度の取り組み◇		2019年度の事業費：1,000千円	
【こころサポーターの養成】			
市民向け、新採用職員向けこころサポーター養成研修とフォローアップ研修を開催します。			
【自殺対策講演会の開催】			
やまと自殺総合対策計画の改定に伴い、普及啓発のため、自殺対策講演会を開催します。			
	2020年度	2021年度	2022年度
実施計画に定める事業費の推計（千円）	1,000	1,000	2,400

救急医療情報活用事業【担当課：健康づくり推進課】			
1-2-1-2 市民が適切な医療を受けられるよう支援する			
◇2019年度の取り組み◇		2019年度の事業費：300千円	
【救急医療情報キットの配布】			
担当課、各学習センター、市内11薬局等において配布を行います。			
救急フェア、終活支援講演会等のイベントで配布を行います。			
【救急医療情報の更新等を促すためのPR】			
FMやまと、広報PRボードへのポスター掲示等の広報活動を行います。			
	2020年度	2021年度	2022年度
実施計画に定める 事業費の推計（千円）	300	300	300

高齢者見守り事業【担当課：高齢福祉課】			
2-1-1-1 高齢の方にとって安心できる生活環境を整える			
◇2019年度の取り組み◇		2019年度の事業費：16,400千円	
【高齢者見守り（緊急通報）システム】			
65歳以上のひとり暮らし等で心臓病等があり、緊急時に外部へ連絡することが困難な方や、80歳以上のひとり暮らしの方等に、ボタン一つで通報できる緊急通報装置と、異常を感知した際、自動的に通報する人感センサー等を貸与します。			
	2020年度	2021年度	2022年度
実施計画に定める 事業費の推計（千円）	18,100	19,100	20,000

妊婦健康診査事業【担当課：すくすく子育て課】			
3-1-1-1 こどもの健やかな発育・発達を支援する			
◇2019年度の取り組み◇		2019年度の事業費：131,000千円	
【妊婦健康診査費用の助成】			
妊婦健康診査に係る費用の一部を助成し、定期受診を勧めることで、母子の適切な健康管理に努めます。母子健康手帳交付時に、妊婦健康診査費用補助券14回分（多胎児妊娠は17回分）を交付し、公費助成します。			
	2020年度	2021年度	2022年度
実施計画に定める 事業費の推計（千円）	122,000	122,000	122,000

妊産婦・新生児等訪問事業【担当課：すくすく子育て課】

3-1-1-1 こどもの健やかな発育・発達を支援する

◇2019年度の取り組み◇ 2019年度の事業費：8,900千円

【妊産婦・新生児等の家庭訪問の実施】

母子健康手帳の交付時や各種健康診査において把握された、継続的支援を必要とする妊産婦や乳幼児を対象に、保健師や管理栄養士が訪問し、支援を行います。

【おおむね生後4か月までの乳児のいる家庭の全戸訪問】

概ね生後4か月までの乳児のいる家庭を対象に、「赤ちゃん訪問」を実施しています。訪問時には、新生児や乳児の発育発達の確認、産婦の体調管理や授乳、産後うつに関する支援を実施します。また、地域の育児情報やサービス利用方法についてもご案内しています。

【妊娠から産後期に助産師による相談・訪問の実施】

「助産師さん何でも相談」を実施し、妊産婦等が抱える妊娠・出産や子育てに関する悩み等について、助産師が相談支援を行います。

	2020年度	2021年度	2022年度
実施計画に定める事業費の推計（千円）	9,000	9,000	9,000

子育て世代包括支援センター事業【担当課：すくすく子育て課】

3-1-2-2 保護者の子育てに関する不安や負担を軽減する

◇2019年度の取り組み◇ 2019年度の事業費：6,400千円

【電話相談、家庭訪問、ケアプラン作成等】

妊娠を考えたときから、妊娠・出産・子育てに関する相談に、ワンストップで応じます。また、必要に応じて支援プランを作成し、各種母子保健事業や子育て支援事業をコーディネートすることで、切れ目のない支援を実施します。

	2020年度	2021年度	2022年度
実施計画に定める事業費の推計（千円）	4,500	4,500	4,500

児童生徒安全対策事業【担当課：指導室】

4-2-1-2 こどもが非行や犯罪に関わらないよう未然防止策を講じる

◇2019年度の取り組み◇ 2019年度の事業費：3,100千円

【PSメールを活用した情報伝達】

犯罪、不審者、自然災害等の情報を利用登録した保護者へ迅速に伝達します。
学校ごとの連絡事項を利用登録した保護者へ迅速に伝達します。

【防犯ブザーの配布】

全市立小学校の新1年生に防犯ブザーを配布します。

	2020年度	2021年度	2022年度
実施計画に定める事業費の推計（千円）	2,900	2,900	2,900

いじめ等対策事業【担当課：指導室】			
4-2-2-1 いじめの撲滅、不登校児童生徒の減少を図る			
◇2019年度の取り組み◇		2019年度の事業費：20,600千円	
【いじめ、不登校に関するフォーラムの開催】 いじめ・不登校について学校、地域で考え、行動に移せるよう教育フォーラムを開催します。			
【児童支援中核教諭の配置（全小学校）】 全市立小学校において指導体制の充実を図るため、児童支援中核教諭を校内から選任し、その授業代替要員として非常勤講師を配置します。			
【集団アセスメントの実施（全小中学校：小5年、中1年）】 学級の状態や個人の成長の様子を客観的に把握し、より良い集団作りや、いじめ・不登校の防止に役立てるために学級集団アセスメントテストを実施します。			
	2020年度	2021年度	2022年度
実施計画に定める 事業費の推計（千円）	20,300	20,300	20,300

地域防災訓練事業【担当課：消防署管理課】			
5-1-1-1 防災・減災に対する自助・共助の取り組みを推進する			
◇2019年度の取り組み◇		2019年度の事業費：10,400千円	
自治会、自主防災会等の市民に対し地域防災訓練を実施します（初期消火訓練、心肺蘇生訓練、震度体験訓練、AED取扱い訓練等の指導） （2018年度実績） 訓練実施回数：46回、参加人員：4,594人、参加自主防災会数：140自主防災会			
	2020年度	2021年度	2022年度
実施計画に定める 事業費の推計（千円）	3,300	3,000	3,000

地域防犯活動推進事業【担当課：生活あんしん課】

5-2-1-1 犯罪発生件数の減少を図る

◇2019年度の取り組み◇ 2019年度の事業費：32,400千円

【客引き行為、つきまとい行為等の防止に関する条例に基づく指導の実施】
 「大和市客引き行為、つきまとい行為等の防止に関する条例」に基づき、安全安心指導員の指導等により公共の場所での客引き行為等を防止します。

【防犯教室等の開催】
 大和警察署及び防犯活動ボランティア団体と協力し、自治会、小学校など申し込みのあった団体に対して防犯講話を実施します。

【防犯キャンペーンの実施】
 大和警察署及び防犯活動ボランティア団体と協力し、駅前や大型商業施設周辺で、通行人や施設利用客に対して防犯啓発のキャンペーンを実施します。

【ヤマト SOS 支援アプリの運用】
 スマートフォン向けアプリケーション「ヤマト SOS 支援アプリ」を運用し、市内の防犯・防災等に関する情報を市民に配信します。

【振り込め詐欺防止対策のための電話機等購入費補助】
 音声を録音する旨のメッセージが流れ会話を自動で録音できる機能を備えた電話機等の機器の購入者に対して補助金を交付し、振り込め詐欺被害の防止を図ります。

	2020年度	2021年度	2022年度
実施計画に定める 事業費の推計（千円）	12,900	7,500	7,500

交通安全啓発事業【担当課：道路安全対策課】

5-2-2-1 交通事故発生件数の減少を図る

◇2019年度の取り組み◇ 2019年度の事業費：17,300千円

【交通安全教室等の開催】
 幼児から高齢の方までの各世代に合わせた交通安全教室を実施します。

【TS マーク取得及び幼児・児童用ヘルメット購入助成】
 交通ルール遵守とマナー向上のため、TS マーク取得及び幼児・児童用自転車ヘルメット購入助成対象講習会を開催し、参加者への助成を行うことで、交通事故への備えと交通安全意識の向上を図ります。

【自転車保険の実施】
 県条例により規定された自転車損害賠償責任保険の義務化を交通安全教室や各季の交通安全街頭キャンペーンにて周知を図っていきます。
 また、市では、県条例に先立ち平成28年度から市立小学5・6年生、平成29年度から市立中学生まで対象とした「自転車保険付き自転車運転免許証」の交付を実施しています。

【シルバー・ドライブ・チェックの実施】
 70歳以上の高齢ドライバーを対象にドライブレコーダーを活用した安全運転診断を実施し、自らの運転の様子を見直すことで、安全運転に対する意識を再確認できるきっかけを作ります。

	2020年度	2021年度	2022年度
実施計画に定める 事業費の推計（千円）	17,400	17,400	17,400

応急手当普及啓発事業【担当課：救急救命課】

5-2-4-1 市民、地域、事業者の火災対応力や応急手当能力を強化する

◇2019年度の取り組み◇ 2019年度の事業費：4,500千円

【各種救命講習会を開催】

現場に居合わせた人（バイスタンダー）が、救急車が到着するまでの間に必要な応急手当を実施することで、救命率の向上を目的として各種救命講習会を開催します。また、毎月第一土曜日に実施している「AEDの日」とともに、応急手当を気軽に学べる「救急ミニ講座」を開催します。

【やまとAED救急ステーションの認定】

事故や病気により呼吸や脈が止まった場合、すぐにAEDを使用して除細動（電気ショック）を行うことができる環境を整備するため、AEDを設置している民間施設に協力をお願いする制度です。

	2020年度	2021年度	2022年度
実施計画に定める 事業費の推計（千円）	4,900	4,900	4,200

救急活動事業【担当課：消防署管理課】

5-2-4-2 火災などの被害を最小限にするため、迅速かつ効果的、効率的な活動を行う

◇2019年度の取り組み◇ 2019年度の事業費：9,300千円

【災害出動】

救急車の台数（非常用救急含む）：7台

出動件数：12,118回 ※2019年中の出動件数

搬送人員：10,903人 ※2019年中の搬送人員

救急救命士数：39人

【救急活動用消耗品を、活動に支障がないよう購入】

主な消耗品：感染防止衣、ディスポグローブ

主な薬剤：アドレナリン、乳酸リンゲル、50%ブドウ糖溶液

	2020年度	2021年度	2022年度
実施計画に定める 事業費の推計（千円）	8,600	8,900	9,000

事例紹介 神奈川県内初！振り込め詐欺防止対策機能付き電話機等購入費補助金

～ 市内の特殊詐欺認知件数が大幅に減少 ～

市内の犯罪認知件数は、平成15年の6,427件をピークに令和元年は〇〇〇〇件（暫定値）と著しく減少しています。

しかし、その中でも、特殊詐欺（振り込め詐欺）については、認知件数、被害額ともに増加傾向にあり、平成30年には過去最悪の認知件数117件、被害額約2億1,200万円を記録しました。

そこで市は、「特殊詐欺撲滅に向けた強い意志」を対外的に表し、市民の財産を詐欺の被害から守ることを目的に2018年10月から、録音機能を備えた電話機などを購入した70歳以上の市民に対して補助金を交付しています。

犯人は自分の声を録音されることを嫌がるため、録音機能は効果的であるとされており、市民の皆様の好評により、2018・2019年度ともに年度途中で受付を終了し、累計で714件の申請を受け付けました。

この結果、同補助金を開始した2018年、翌年の2019年の特殊詐欺認知件数を比較すると、神奈川県全体では増加していますが、大和市は前年と比較し、認知件数は約3分の2の74件、被害総額は半分以下の約8,900万円と大きく減少に転じています。実際に機器を取り付けた方を対象にアンケートを実施したところ「迷惑電話が減った」、「効果を感じている。」といった回答が多く得られました。この事業を実施したことにより、特殊詐欺の減少に一定の効果を果たしていると考えています。

この補助金制度は、大和市が県内自治体で初めて実施し、神奈川県警から奨励事例として紹介されました。他市町村からの問い合わせも多く、注目を集めています。

開始当初は2019年度までの2ヵ年計画でしたが、一定の効果を得られたと考えられることから、2020年度も継続することを予定しております。引き続き多くの要望に応え、警察と連携しながら、市民の皆さまを特殊詐欺の被害から守っていきたいと考えています。

【参考】

(1) 市内の特殊詐欺の認知件数と被害総額の推移について

	認知件数	被害総額
2015年	30件	約7,800万円
2016年	53件	約1億900万円
2017年	102件	約1億5,500万円
2018年	117件	約2億1,200万円
2019年	74件	約8,900万円

※件数および金額は県警提供データによる

(2) 振り込め詐欺防止対策のための電話機等購入費補助金について

対象者：大和市内に住所を有し、現に居住している70歳以上の人

補助金額：上限1万円

※電話機等の購入金額が1万円未満の場合は、購入金額（100円未満切り捨て）

【2018年度実績（10月1日～1月15日終了）】

補助申請件数：203件〔予算200件程度〕、総補助金額：1,998,700円〔予算2,000,000円〕

【2019年度実績（4月1日～12月16日終了）】

補助申請件数：511件〔予算500件程度〕、総補助金額：4,989,900円〔予算5,000,000円〕





市民の取り組み 自主防災組織による防災活動について

東日本大震災以降、50年に1度、100年に1度といわれる大きな震災、水害、土砂災害などさまざまな災害が起きています。災害はいつ何時どこで起こってもおかしくありません。

災害時には、自助（日頃から各家庭で災害に備え自身の身は自身で守る）、公助（行政機関による援助活動や物資支援）、共助（地域の人・周囲の人が協力し助け合う）が互いに一体となることで、被害を最小限に食い止め、早期の復旧・復興を可能にするといわれています。

しかし、どれも一朝一夕では十分に機能するものではありません。

各自治会や団体に組織された自主防災会による合同防災訓練にて、スタンドパイプを用いた消火活動など実践的な訓練や耐震車体験などを行っています。訓練を通じて、ご近所同士の連携を深めることにもつながっていると思われます。

防災訓練は繰り返し行ってこそいざという時の行動に結びつきます。今後も継続して合同防災訓練を行っていきますので、一人でも多くの方にご参加いただければ幸いです。

■合同防災訓練のようす





ゆとりを感じようプロジェクト

心身ともに休息をとることは、疲れた身体を癒すとともに、ストレスの解消につながり、明日への活力を生み出す健康の基本です。まちの空間や、ひとのつながりが、心地よいものとなるように、環境の整備を進めます。

【健康都市プログラム掲載事業】

ゆとりを感じようプロジェクト一覧 「健康都市やまと総合計画 実施計画」における 主要な事務事業より抽出	主な取り組み	健康都市やまと総合計画								所管課	ページ
		基本目標									
		1	2	3	4	5	6	7	8		
		人				まち		社会			
つどいの広場事業	つどいの広場（こども一る）の運営			○						こども総務課	54
子育て支援センター運営事業	子育て支援センターの管理運営			○						こども総務課	54
放課後児童クラブ事業	児童クラブの運営			○						こども・青少年課	54
児童館管理運営事業	児童館の管理運営				○					こども・青少年課	55
青少年育成事業	母子のプレイルーム、お話し会の実施				○					こども・青少年課	55
歩道セーフティーアップ事業	歩道改良等の整備					○				道路安全対策課	55
緑地保全事業	緑地の管理保全						○			みどり公園課	56
大規模緑地整備事業	大規模緑地の用地交渉、測量						○			みどり公園課	56
保存樹林等支援事業	保存樹林、保存生垣、保存樹木の指定						○			みどり公園課	56
緑化推進支援事業	緑の相談コーナーの設置						○			みどり公園課	57
市民農園運営事業	市民農園の運営支援						○			農政課	57
中央林間駅周辺まちづくり事業	中央林間駅周辺のまちづくり						○			街づくり総務課	57
ゆとりの森整備事業【再掲】	スポーツ施設、レクリエーション施設の整備						○			みどり公園課	58
街区公園等整備事業【再掲】	憩いの場の提供						○			みどり公園課	58
図書館管理運営事業	図書館の管理運営							○		図書・学び交流課	58
文化芸術振興事業	文化芸術活動の発表の場及び芸術鑑賞の機会の提供							○		文化振興課	59
芸術文化ホール管理運営事業	芸術文化ホールの管理運営							○		文化振興課	59

【プロジェクトに関連する個別計画】

- ・ 地域福祉計画
- ・ 文化芸術振興基本計画
- ・ 総合交通施策
- ・ 環境基本計画
- ・ 緑の基本計画
- ・ 都市計画マスタープラン

【関連計画における参考となる指標】

- ・ 健康都市やまと総合計画の成果を計る主な指標

	実績値	中間目標値 (2021年)	目標値 (2023年)
大和市は、良好なまち並みが形成されていると思う市民の割合	46.7% (2016年)	50.5%	52.5%
大和市は、公共交通機関を手軽に利用できると思う市民の割合	76.1% (2016年)	79.0%	80.0%
大和市には、緑や公園が多いと思う市民の割合	68.7% (2016年)	71.0%	73.0%
文化や芸術活動が盛んに行われていると思う市民の割合	45.7% (2016年)	55.5%	59.5%

【各事業の取り組み内容】

つどいの広場事業【担当課：こども総務課】			
3-1-2-2 保護者の子育てに関する不安や負担を軽減する			
◇2019年度の取り組み◇		2019年度の事業費：17,600千円	
【つどいの広場の運営】			
子育てアドバイザー2名を配置し、子育て悩み相談、利用者の親子に対する地域の子育て関連情報の提供を行い、子育てボランティア等に対する研修を実施します。			
	2020年度	2021年度	2022年度
実施計画に定める事業費の推計（千円）	17,800	27,600	27,600

子育て支援センター運営事業【担当課：こども総務課】			
3-1-2-2 保護者の子育てに関する不安や負担を軽減する			
◇2019年度の取り組み◇		2019年度の事業費：16,100千円	
【指定管理者への委託による管理運営】			
子育てに関する情報提供、子育て何でも相談、子育てサロンの運営、子育てサークル支援等について指定管理で運営します。			
	2020年度	2021年度	2022年度
実施計画に定める事業費の推計（千円）	16,100	16,100	16,100

放課後児童クラブ事業【担当課：こども・青少年課】			
3-2-1-1 保護者のニーズに応じてきめ細やかな保育等を提供する			
◇2019年度の取り組み◇		2019年度の事業費：404,000千円	
【公営児童クラブの運営】			
小学校の余裕教室等を活用し、資格を有する支援員等等により児童クラブの運営を行います。			
【民営児童クラブへの業務委託、運営補助金の交付】			
公営児童クラブのない学区（南林間小学校、西鶴間小学校）については、民営の児童クラブに業務を委託します。公営及び委託民営児童クラブに入会できない児童（入会保留児童）を受け入れた他の民営児童クラブについては、その人数により、市から運営補助金を交付します。			
	2020年度	2021年度	2022年度
実施計画に定める事業費の推計（千円）	411,000	411,000	411,000

児童館管理運営事業【担当課：こども・青少年課】			
4-2-3-1 こどもたちの活動を活発にする			
◇2019年度の取り組み◇		2019年度の事業費：67,300千円	
【指定管理者への委託による管理運営】			
こどもたちと関わりを持ちながら、様々な季節の事業を通して想像力豊かな発想を導き出すよう、各館が工夫を凝らした月々の各種イベント等を実施します。			
	2020年度	2021年度	2022年度
実施計画に定める事業費の推計（千円）	63,800	65,600	87,200

青少年育成事業【担当課：こども・青少年課】			
4-2-3-1 こどもたちの活動を活発にする			
◇2019年度の取り組み◇		2019年度の事業費：900千円	
【野外活動体験等の実施】			
大和ユースクラブに、小学校5・6年生を対象とした「わくわく冒険隊」などの青少年に関わる事業を委託することで、自主企画・自主運営を促進するとともに、若者の健全育成と能力開発を図ります。			
【母と子のプレイルーム、お話し会の実施】			
親子が一緒に楽しく過ごす事で、幼児の情操教育に寄与するとともに、利用者同士の交流を促進することを目的として、母と子のプレイルーム・おはなし会の講座をそれぞれ月1回開催します。			
	2020年度	2021年度	2022年度
実施計画に定める事業費の推計（千円）	1,000	1,000	1,000

歩道セーフティーアップ事業【担当課：道路安全対策課】			
5-2-2-1 交通事故発生件数の減少を図る			
◇2019年度の取り組み◇		2019年度の事業費：17,800千円	
【歩道改良等の整備】			
歩道の拡幅、横断防止柵の設置及び側溝蓋のがたつき解消を行い、歩行者等の安全かつ円滑な交通の確保を図ります。			
	2020年度	2021年度	2022年度
実施計画に定める事業費の推計（千円）	21,000	10,700	12,900

緑地保全事業【担当課：みどり公園課】

6-1-3-1 市内にある貴重な緑や自然を保全する

◇2019年度の取り組み◇ 2019年度の事業費：32,700千円

【保全緑地契約の更新】

本市の貴重な財産である大規模な緑地を将来に残すため、買取や賃貸借契約を締結し保全します。

【緑地施設の管理】

安全管理の側面から支障木や危険木の処理を適正に行い、森の更新伐採も計画的に進め、緑地施設の維持管理に努めます。

【測量調査】

用地買収や境界確定の際に、必要性に応じて測量調査を行います。

	2020年度	2021年度	2022年度
実施計画に定める事業費の推計（千円）	32,800	32,800	32,800

大規模緑地整備事業【担当課：みどり公園課】

6-1-3-1 市内にある貴重な緑や自然を保全する

◇2019年度の取り組み◇ 2019年度の事業費：3,600千円

【大規模緑地の用地交渉、測量】

市内に残る貴重な財産である大規模緑地を、将来にわたって保全していくために、土地所有者と継続的に用地交渉を行い、用地買収の際には、必要に応じて測量調査を行います。

	2020年度	2021年度	2022年度
実施計画に定める事業費の推計（千円）	3,600	3,600	3,600

保存樹林等支援事業【担当課：みどり公園課】

6-1-3-1 市内にある貴重な緑や自然を保全する

◇2019年度の取り組み◇ 2019年度の事業費：39,700千円

【保存樹林・保存生垣・保存樹木を指定し、協定を締結】

市街化区域内に点在する緑を保存するために、一定要件のもとに新規保存樹林等を指定し協定を締結します。また、協定期間満了者に対する協定の更新を行います。

【緑化奨励金の支給】

協定締結者に対して、それぞれの規定に応じた緑化奨励金を支払います。

	2020年度	2021年度	2022年度
実施計画に定める事業費の推計（千円）	39,600	39,600	39,600

緑化推進支援事業【担当課：みどり公園課】

6-1-3-2 地域緑化の推進を図る

◇2019年度の取り組み◇ 2019年度の事業費：3,900千円

【緑に関する相談業務】

グリーンアップセンターにて月曜日と年末年始を除く午前10時から午後4時まで専門の相談員を配置し、市民を対象に相談業務を行います。

【生垣設置、ブロック塀撤去への費用助成、現物支給】

生垣設置に伴う設置費用や既存ブロックの撤去などの助成制度を広報等でPRし、新たな緑を創出します。

	2020年度	2021年度	2022年度
実施計画に定める事業費の推計(千円)	3,900	3,900	3,900

市民農園運営事業【担当課：農政課】

6-1-3-3 農地の適正な保全、活用を図る

◇2019年度の取り組み◇ 2019年度の事業費：7,200千円

【市民農園の運営支援】

市民農園の管理及び運営をしている各市民農園の代表からなる大和市民農園運営委員会を支援します。

4月頃に夏野菜栽培講習会、7月頃に秋野菜栽培講習会を開催し、農園利用者が自ら農作物を栽培する興味や知識の向上を図ります。

	2020年度	2021年度	2022年度
実施計画に定める事業費の推計(千円)	7,200	7,300	7,300

中央林間駅周辺まちづくり事業【担当課：街づくり総務課】

6-2-2-1 住環境の維持、改善を進める

◇2019年度の取り組み◇ 2019年度の事業費：113,000千円

【小田急中央林間駅施設改善】

小田急中央林間駅施設の改善に向け、改札口新設に向けた工事に着手します。

【東林間7号踏切道拡幅】

小田急電鉄(株)に委託し、踏切の拡幅に向けた支障物の移設工事等に着手します。

【駅前広場・交通広場整備詳細検討】

鉄道事業者等と協議を行いながら、駅前広場の整備に向けて整備方針を検討します。

	2020年度	2021年度	2022年度
実施計画に定める事業費の推計(千円)	487,000	312,000	305,000

ゆとりの森整備事業（再掲）【担当課：みどり公園課】			
6-2-3-2 市民に親しまれる公園づくりを推進する			
◇2019年度取り組み◇		2019年度の事業費：38,400千円	
【避雷針付四阿整備】			
夏季における熱中症対策や、ゲリラ豪雨などによる落雷時の避難スペースを確保するため、避雷針付の四阿を整備します。			
*ゆとりの森整備事業は、「身体を動かそうプロジェクト」にも登載されています。			
	2020年度	2021年度	2022年度
実施計画に定める事業費の推計（千円）	28,800	18,600	12,600

街区公園等整備事業（再掲）【担当課：みどり公園課】			
6-2-3-2 市民に親しまれる公園づくりを推進する			
◇2019年度取り組み◇		2019年度の事業費：31,100千円	
【（仮称）ふれあいの森草柳第2広場整備】			
スケートボードや自転車の練習、バスケットボール（3×3）などができるエリアを整備します。			
*街区公園等整備事業は、「身体を動かそうプロジェクト」にも登載されています。			
	2020年度	2021年度	2022年度
実施計画に定める事業費の推計（千円）	138,000	4,600	0

図書館管理運営事業【担当課：図書・学び交流課】			
7-1-1-1 市民の本との出会いや読書活動を活発にする			
◇2019年度取り組み◇		2019年度の事業費：565,000千円	
【大和市立図書館、中央林間図書館、渋谷図書館の管理運営】			
指定管理者制度を活用し、図書館の円滑な管理運営を行います。			
図書館を中心とした複合施設を設置している他自治体と図書館の連携・協力に関する同盟を締結し、互いに持つノウハウやアイデアによって、より多くの市民にとって魅力的な図書館の運営や読書活動の推進を図ります。			
	2020年度	2021年度	2022年度
実施計画に定める事業費の推計（千円）	571,000	569,000	569,000

文化芸術振興事業【担当課：文化振興課】

7-2-1-1 市民の文化芸術活動の裾野を広げる

◇2019年度の取り組み◇ 2019年度の事業費：14,900千円

【文化祭、文芸祭の開催】
市民が日頃の文化芸術活動を発表できる場を提供し、知識・技術の向上、文化に対する意識の高揚と普及を図ります。

【コミュニティ音楽館の開催】
コミュニティセンターで質の高い音楽を気軽に楽しめるコンサートを開催します。

【YAMATO ART 100の実施】
文化芸術の力で、人とまちを元気にするため、秋に開催する様々な文化芸術イベントをまとめ、大和の文化芸術の情報を広く発信します。

【文化芸術顕彰の実施】
優れた創造活動を行っているアーティストや大和の文化芸術の発展に貢献した人など、大和市の文化芸術の振興に寄与した方を表彰します。

	2020年度	2021年度	2022年度
実施計画に定める事業費の推計（千円）	15,000	15,000	15,000

芸術文化ホール管理運営事業【担当課：文化振興課】

7-2-1-1 市民の文化芸術活動の裾野を広げる

◇2019年度の取り組み◇ 2019年度の事業費：286,000千円

【指定管理委託】
指定管理者制度を活用し、芸術文化ホール（メインホール・サブホール・ギャラリー・マルチスペース）の管理運営を行います。

	2020年度	2021年度	2022年度
実施計画に定める事業費の推計（千円）	289,000	289,000	289,000



事例紹介 「図書館 城下町 大和市」

～身近な場所で気軽に本に触れることの出来る環境を～

■図書館 城下町 大和市

シリウスの大和市立図書館を本丸に見立て、北の出城「中央林間図書館」、南の出城「渋谷図書館」の3館を主軸に、市域全体で図書サービスを展開しています。シリウスを中心とし、図書館や学習センター図書室における図書サービス、読書に関する事業の開催、図書返却ポストの設置などに、学校の取組みを合わせ、市内全域に渡って「図書館 城下町」を旗印として、本や読書に関わる施策に取り組んでいます。

本丸であるシリウスは、2020年1月21日に累計来館者数1,000万人を達成し、2月1日に市の主催で記念イベントを開催しました。その際に、「図書館 城下町 大和市」のロゴマークを発表しました。今後はこのロゴマークを利用して、図書館のPRや読書活動の推進など、本市の図書館に関する施策をより一層進めていきます。



「図書館 城下町 大和市」

のロゴマーク

■図書館の連携・協力に関する同盟

2019年7月19日に、岐阜県岐阜市と、12月19日に長野県塩尻市と「図書館の連携・協力に関する同盟」を締結しました。

この同盟を契機に、お互いが持つノウハウやアイデアを共有するなどして連携を図ることで、図書館を中心とした複合施設がより良いものとなるよう取り組んでいます。





市民の取り組み 「しらかしのいえボランティア協議会」の活動紹介

「しらかしのいえボランティア協議会」は「しらかしのいえ」で開催される事業を大和市と大和市スポーツ・よか・みどり財団の三者で協働運営するボランティア組織です。

「自然観察センター・しらかしのいえ」を拠点に約100名のボランティア会員が登録し、「無理なく自分のできることから」をテーマに自分の意志で時間のある時に、泉の森やふれあいの森で自然を守り、自然を愛する心を市民の皆様に応募するための活動を行っています。

■会員全体の保全活動



カントリーヘッジの補修



落ち葉拾い



湿生池のかいばり

■部会活動の紹介



野鳥部会

「野鳥と森の自然散策」を開催。野鳥の見分け方や双眼鏡の使い方などをレクチャーしながら泉の森を散策し皆で楽しく野鳥を観察します。



自然あんない部会

「自然とあそぼう」をテーマに、親子でクラフト、ゲーム、クイズなどをして楽しみながら身近な自然とふれあう活動を行っています。



泉の森ガイド部会

四季折々の植物や昆虫などをテーマに自然観察をしながら泉の森を散策する「泉の森観察会」を行っています。



柳とあそぼう

引地川部会

ふれあい広場の引地川自然護岸の柳の補植、投網教室魚類・トンボ調査などの活動を行っています。



環境管理部会

泉の森を訪れる人達に気持ちよく自然と接してもらうために下草刈り、しょうぶの花柄つき、シイタケ栽培、炭焼きなどを行っています。



植物調査班

泉の森の植物相調査、植生調査、貴重種保護の環境保全、一般向けに樹木ウオッチングも行っています。

このほか、泉の森にホタルを呼び戻そうと活動しているホタル環境整備実行委員会、ボランティア会員の機関紙の発行や、センターを訪れる方に部会の紹介を行っている事務局が活動しています。

